



報告書

(平成 28 年度 第 1 回)

平成 29 年 1 月

大和市

目次

1. 開催概要	2
(1) 本事業の目的	2
(2) 当日のプログラム	3
2. 討議会の内容	4
(1) 大和市の人口を取り巻く状況と課題	4
(2) 市民討議会の進め方	4
●話し合いのお約束.....	4
●付箋の書き方のポイント.....	4
(3) 午前の意見交換 ワールドカフェ	5
●進め方.....	5
●流れとまとめ.....	7
●詳細結果.....	8
(4) 午後の意見交換 ワークショップ	24
●進め方.....	24
●流れとまとめ.....	26
●詳細結果.....	28
3. 参加者アンケートのまとめ	54
4. 市民討議会の写真	63
5. 大和市の人口を取り巻く環境 [参考資料]	65

1. 開催概要

(1) 本事業の目的

これから大和市が迎える人口減少をどのようにすれば食い止められるか、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成28年10月2日(日)に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」と言われる方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3000名に案内を送付しました。

当日は、申込みいただいた24名と市内高等学校6校から生徒12名に参加していただきました。

(2) 当日のプログラム

日時：平成28年10月2日（日）

場所：大和市役所地下1階 食堂（大和市下鶴間1丁目1番1号）



小田急江ノ島線「鶴間駅」からのアクセス:

【徒歩の場合】鶴間駅東口から約12分

【バス利用の場合】約5分

(「鶴間駅東口」乗車、「オークシティ前」下車 徒歩約3分)

小田急江ノ島線「大和駅」からのアクセス:

【バス利用の場合】約10分

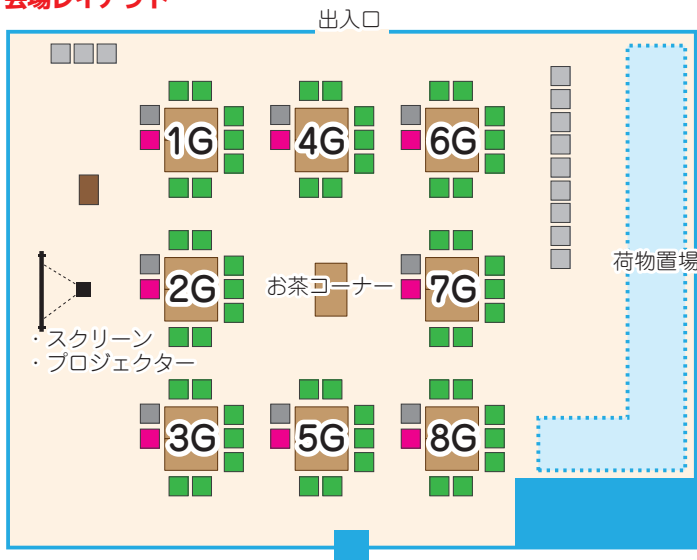
(「大和駅西口」乗車、「市役所市立病院前」または「市立病院」下車 いずれも徒歩約3分)

*できるだけ、公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

*車を利用してお越しの際は、市役所本庁舎または保健福祉センターの駐車場をご利用ください。

・市民討議会は公開して行いました。

会場レイアウト



2. 討議会の内容

(1) 大和市の人口を取り巻く状況と課題

市職員より、大和市の人口を取り巻く状況や課題について、説明を行いました。



(2) 市民討議会の進め方

コーディネーターより討議の進め方について説明を行いました。

討議は、自由な意見を出し合うために、少人数で意見交換を行うグループワーク形式で実施しました。



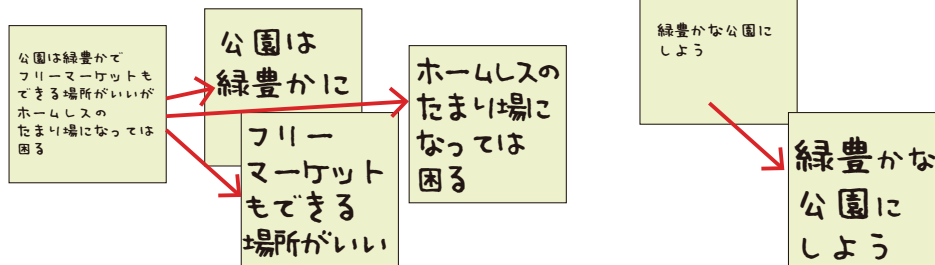
●話し合いのお約束

次のことを、話し合ううえでの約束事項としました。

1. 全体の進行がスムーズにいくように協力しましょう
2. たくさんの事を言いたい時でもなるべく多くの方が議論に参加できるように配慮しましょう
3. 他の人の意見を否定したりせずに、いろいろな考えの人がいることを理解しましょう

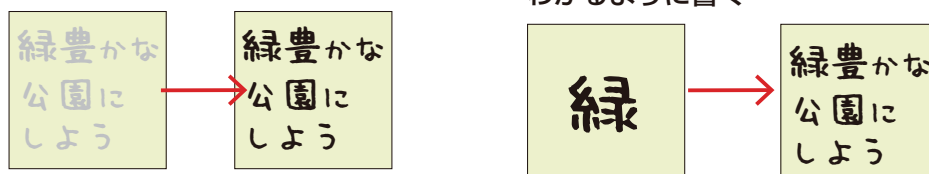
●付箋の書き方のポイント

- ・ 1枚に1つのことを書く



- ・ できるだけ大きな文字で書く

- ・ 配布しているサインペンを使って書く
- ・ 単語ではなく、何をどうしたいかがわかるように書く



(3) 午前の意見交換 | ワールドカフェ

●進め方

- ・大和市の人口減少の原因や課題を出し合い、人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿について議論しました。
- ・討議においては4～5人のグループに分かれて、2つのテーマについてワールドカフェ方式で意見交換を行いました。

【ワールドカフェとは】

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいて、1995年にJuanita Brown（アニータ・ブラウン）とDavid Isaacs（デイビッド・アイザックス）によって開発された話し合い（対話）の手法です。

テーマ①：大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

テーマ②：人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

午前の進め方 (10:50~12:20)

4~5 人で席替えしながら2つのテーマについて意見交換します

1) 8テーブルに分かれて座ります

名札にお示したグループにご着席ください。

2) ヒトコト自己紹介

プロフィールシートを使って自己紹介をします。

3) テーマ①: 大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

思いついたことを何でも出し合ひましょう。特に気になった原因については、深掘りしてみてください。

4) 出し合った意見を書き出そう

テーマはピンク色の付箋に一人 3 枚ずつ書いて貼り出しましょう。

5) 席替え

名札に示した座席情報を基に移動します。

6) 前のグループの振り返りと自己紹介

前のテーブルで話したことを振り返り共有します。

7) テーマ②: 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

テーマ①で出された原因をもとに、大和市がどうなったら人口減少を食い止められるのか、理想の姿を出し合ひましょう。

8) 出し合った意見を書き出そう

青色の付箋に一人 3 枚ずつ書いて貼り出します。

9) グループのベスト意見を選び発表しよう

他のグループに聞かせたい意見 4 つにシールを貼り、発表者を決めて発表します。

テーマ①②のまとめシート

グループ	人口減少の課題をみんなで共有しよう!		
グループ	テーマ 1 大和市で人口が減っていく原因を出し合おう!		
メンバー	□ □ □	□ □	□ □
	□ □ □	□ □	□
グループ	テーマ 2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう!		
メンバー	□ □ □	□ □	□ □
	□ □ □	□ □	□
	□ □ □		

ベスト 4 にシールを貼る

●流れとまとめ

- ・2つのテーマについて8つのグループで話し合っていました。参加者のみなさんの意見をまとめると、次のとおりです。

大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

<制度・環境的要因>

- ・子育て支援や施設が足りない、市の情報や魅力が届いていない
- ・騒音や治安の悪さなどにより、安心して遊べない
- ・駅近で便利な住宅が少ない
- ・女性は仕事を続けたいが、保育園や地元で仕事ができる環境が不足している

<市民・コミュニティ的要因>

- ・教育費など、子育てにお金がかかる
- ・高齢者が元気であることも自然増に影響する
- ・若者のコミュニケーション力が低下し、男女の出会いが減ってきている

など

人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

- ・市の子育て情報をもっとPRし、情報が欲しい人に届くようにしよう
- ・安心して子どもを預けられる環境を整え、子どもがいても働きやすい大和市にしよう
- ・治安の改善を通して、子どもが安心して遊べる環境をつくろう
- ・シェアハウスや成人式などを活用して、男女の出会いを応援しよう
- ・子ども連れでも不自由なく移動できるような支援体制をつくろう
- ・大和市の魅力を再発見し、ブランドカアップを図ろう

など

●詳細結果

1 グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)**テーマ1 大和市で人口が減っていく原因を出し合おう！****育てる環境が不十分**

- ・子どもを育てる環境が不十分
- ・子どもを気軽に預けられる環境
- ・子どもを預ける場所、保育への不安(親)
- ・保育制度の充実
- ・現実的に考えると人を育てるのは大変
- ・子どもはやっぱりお母さんといたい?一人でお留守番は不安でさびしい(子)

コミュニケーション能力が不足

- ・男女のコミュニケーション不足で、結婚へのイメージが希薄
- ・若者のコミュニケーション能力の低下
- ・男女のコミュニケーション不足

お母さんが働きやすい仕事不足

- ・保育と仕事の両立が難しい→真の親子の時間を増やすための仕事代行サービスの実現
- ・女性の働き方のバリエーション不足
- ・働きやすい環境不足

まちの魅力が伝わりづらい

- ・魅力が伝わりづらい

恋愛より仕事を優先

- ・最近の人は恋愛より仕事

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう**出産・子育てに関する情報をもっと発信**

- ・ 出産を援助する情報提供を積極的にする
- ・ 情報の伝達をもっと発信して欲しい

出会いの場がある！

- ・ 出会いの場

子育て特化住宅をつくる

- ・ 子どもに適した家に対して費用を出す
- ・ 子育てに特化した場所（住宅等）が欲しい
- ・ 小さい子どもを育てやすい住宅を建てる

治安をよくする

- ・ 治安が悪いというイメージをなくす
- ・ 治安をよくし住みやすい町づくり

若い世代、子どもたちが安心して楽しく遊べる場所が必要

- ・ 若い世代が安心して、楽しく遊べる場所（公園やショッピングセンターなどの雰囲気良く）
- ・ 明るく安心できる遊び場所
- ・ 若い世代の人たちが楽しく遊べる場所をもう少し増やす
- ・ 子どもたちが楽しく遊べる場

バスなどの交通の便を良くする

- ・ 交通の手段、不便さの対策で社会増
- ・ 交通の便がもっともっと良くなったらいいな…
- ・ 交通の便をもっとよくする

2グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)

テーマ1 大和市中で人口が減っていく原因を出し合おう

お金がかかる

- ・子育てに教育費がかかる
- ・教育費がかかってしまう
- ・子どもにかかる教育費がたかい

結婚していない人が多い

- ・結婚しない人

子育て世代の誘致が必要

- ・子育て世代の誘致ができてない

ママの子育てサポート、子育て情報が足りない

- ・子育ての支援が（特に若者に）届きにくい

産休・育休がとれるか心配

- ・転職、支援ワーク

大和市中への愛着が大切

- ・大和市中に愛着がない？
- ・地域のイベントがない
- ・地元（大和市中）に対する愛着が湧くイベントを
→子どもの頃のイベントとか
- ・大和市中で生まれても転出する
- ・将来、大和市中で子育てしたいと思わない人がいる

治安が悪い

- ・夜の大和駅怖い
- ・飛行機の音。イメージ強

駅近くの住宅足りてない

- ・住宅が足りない。母数とバランス

子育て支援が足りない

- ・子育て支援が足りない

高齢化に伴う課題

- ・高齢の方が多いので亡くなる方が増えている
- ・病院の機能不足…？

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

近隣とのコミュニケーションがとれる体制

- ・近所のコミュニケーションがとれてない

子育て情報を届ける

- ・今ある制度の伝え方
- ・まずは子育て情報が欲しい人に情報が届く環境を

妊婦さん、ママのための移動支援、ママバス

- ・市内商業施設がコミバス等で利用できる「ママバス」とか良いかも？
- ・離職した人のママワーク支援
- ・子育てのために離職した母親の復帰
- ・ハードとソフトのバランスをとる（住宅、園、子育て支援とか）
- ・住宅や保育園、市政のバランスを調整
- ・土地を安くする
- ・地価を少しでも安くすれば人も増えていく。他に比べて高いらしい

子ども主体のイベント事業の実施

- ・子ども主体の事業をやると良い？
- ・イベントの参加者 up
- ・数あるイベントの参加者を増やす→イベントごとの年齢を幅広くする
- ・駅でやっているフリマみたいなのがある。その対象年齢が高め、幅広くしたらよいと思う
- ・子育てしたい、暮らしたい、インパクト力、ブランド力
- ・「ここに暮らしたい！」そう思えるようなインパクト力を与えられる事が欲しい
- ・若者や子どもが楽しめる場・公園
- ・飲食店ばかりだから。若者や子どもの楽しめる、例えば公園なんかを増やす

3グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)**テーマ1 大和市中で人口が減っていく原因を出し合おう****子どもが遊べる場所が少ない**

- ・子どもが遊べる場所が少ない！
- ・子どもが外で遊べる場所が少ない
- ・子どもが外で遊べない
- ・子どもが遊びにくい環境

子育ての環境が悪い

- ・子育てするにあたり、周りの環境が悪い

安心して遊べない、治安が悪い、禁止事項多い

- ・安心して遊べる公園。子どもだけ、小さい子連れでも
- ・治安が悪い
- ・安心して子育てできると2人目、3人目を産もうという気になる

保育の負担…保育園に入れない

- ・保育園に入れない
- ・保育にお金がかかる

共働きの人が多く、地域に人の目が少ない（見守りには地域の人があると良いが、善意で声をかけても不審者とまちがわれる）

- ・共働きの親が多く、夕方外にいる保護者が少ない

人口減少に関する教育の機会が少ない

- ・人口減少に関する教育がされる機会が少ない

若い人が行ける場所が少ない

- ・お年寄り中心の場所が多く、若い人が行ける場所がない

補助されるメニューがわからない

- ・補助されるものがわからない

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう**第一子を早めに産めると良い、出会いのサポートがあると良い**

- ・第一子を早めに産めると良い（祖父母が若いうちに産むと面倒を見てもらいやすい）
- ・男女の出会いをサポート

公園があり、騒音のない環境がほしい

- ・1つ大きな公園ができればいいと思う
- ・騒音→夜、昼寝の時は出ないようにする

共働きで子どもを預けられる場所、保育制度の充実が必要

- ・共働きで子ども、親を預ける場所
- ・共働きで、子どもを預ける場所が少ない
- ・保育制度の充実
- ・父母が働いていても子どもの面倒をみってくれる人をつくる。祖父母等（子育てサポートしてくれる祖父母の存在）

シングルマザーのサポートが必要

- ・シングルマザーのために、小中学校で保育できる所をつくる

9時～5時にこだわらない雇用形態の多様化が必要

- ・雇用形態の多様化
- ・職のキャリアの場所
- ・女性のキャリアサポート

治安が悪いので、見守りをしてくれる「地域のおじいちゃんおばあちゃん」がいると良い

- ・駅や危ない所の見回り→人が安心する環境づくり
- ・「地域のおじいちゃんおばあちゃん」がいると安心

4グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)**テーマ1 大和市で人口が減っていく原因を出し合おう****出産・子育ての費用負担への不安**

- ・ 出産、子育てで費用面が気になり産めない
- ・ 費用面で出産を躊躇する
- ・ 子どもがたくさん産めない

子どもの遊び環境が不十分

- ・ ボール遊びのできる公園が少ない

高齢者が生きがいを持てる場が少ない

- ・ 高齢者が亡くなる
- ・ 高齢化で亡くなる人が増える

飛行機の騒音

- ・ 飛行機、騒音

他自治体へ引っ越してしまう

- ・ 他自治体への引越し

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう**仕事と子育ての両立を可能にする支援**

- ・ 結婚後も仕事が継続できる環境づくり
- ・ 仕事を続けながら育児が続けられる
- ・ 子育てと仕事の両立ができる保育対策

第二子出産を促進する支援

- ・ 2人目以降の保育園入園の保障
- ・ 2人目の子どもを育てる時は、保育料が安くなる

利用しやすい保育施設の充実

- ・ 保育費用の軽減、補助
- ・ 民間に入れても保育料の補助
- ・ 身近にすぐに預かってもらえる保育所が欲しい

子育てサポートの充実

- ・ 地域で子育てをサポートする

子育て中の親の居場所づくり

- ・ 子どもはもちろん若い親でも立ち寄れる場所がほしい

親子で遊べる環境づくり

- ・ 子どもだけ、親子一緒に遊べる公園

まちの防犯性の向上

- ・ 治安の良い、昼夜安心して暮らし

文化・教育施設の充実

- ・ 図書館・公園の充実

5グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)**テーマ1 大和市中で人口が減っていく原因を出し合おう****病院が少ない**

- ・産婦人科など病院の数が少ない
- ・医者の数やベット数など医療面が整っていない
- ・病院など施設の手手が足りていない
- ・環境がよくなく過ごしやすすくない

治安が悪い

- ・治安が悪い
- ・治安の良し悪しが地域により異なっている
- ・大和市中の治安のイメージが悪い
- ・犯罪率が高く子育てには不向き?
- ・実際の治安の悪さより、イメージが勝っている

住みにくい

- ・ショッピングセンターが少なく、公園ではボール遊びができないなど、子どもが住みにくい
- ・ショッピングセンターをもう少し増やし楽しくする必要がある
- ・大型店舗などを増やす

住むところが少ない

- ・住宅地が少ない

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

病院の受け入れ体制を見直し働く世代が受診しやすくする

- ・ 夜間や休日の受診を可能にするなど、病院の受け入れ体制を見直す
- ・ 健康維持により、通院する機会を減らすことで、緊急患者などにきちんと対応できるようにする
- ・ 高齢者や働く世代、病状の重さにより、窓口や開院時間を変えるなど工夫があるとよい

駅周辺の清掃活動を行い治安の悪いイメージを払拭する

- ・ 特に駅前を掃除する
- ・ 特に駅前の清掃を行い、イメージを向上させる
- ・ 駅周辺など治安の悪い場所でクリーン活動をする
- ・ 高齢者の協力によるパトロールを行い治安をよくする
→ 高齢者の健康や地域コミュニティづくりにつながる
- ・ 駅前の風俗店を一掃するなど都市計画の立て直しをする

文化的に豊かなまちにする

- ・ 図書館や科学館などの文化施設を増やしたり、開館時間を延ばす
- ・ 美術館や博物館などの文化施設をつくる
- ・ 科学館を増やす
- ・ 図書館や公民館などを活用し、文化的なまちをつくる
- ・ 文化施設は市のシンボルにもなる
- ・ 子どもの面倒をみてくれる仕組みもあると便利
- ・ 文化施設は子どもの育て方や、治安改善にもつながる

6グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)**テーマ1 大和市中で人口が減っていく原因を出し合おう****飛行機の騒音**

- ・騒音 (×2)
- ・木を切ったりすることによる騒音問題

住宅費が高い

- ・交通の便は良いが、地価が高い。住宅費が家計全体に占める割合が高い
- ・住むことにお金がかかる
- ・地価が高く住みにくい。将来一人暮らしになったときに大変そう

治安が悪い

- ・他に比べて治安が悪い
- ・治安が悪い (特に大和駅周辺)
- ・治安が悪い。たむろしている人や客引きなど怖い人が駅にいる
- ・治安が悪い。警察 24 時といった番組でも大和市中が取り上げられていた
- ・不審者が出たりする

人のつながりがない

- ・人のつながりが少ない。駅前だと人に会う機会が少ない
- ・防災訓練でも高齢の方や昔からの人ばかり

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

交通の便を生かしたPR

- ・大和市の育児支援サービス PR（小田急線、相鉄本線、東急田園都市線沿線で）
- ・立地のよさ、子育てのしやすさを PR していく
- ・電車の多さを利用し、車内に市の PR 広告を出してもらおう
- ・市政、子育て支援の PR（電車広告、HP）

大和駅の再開発を行う

- ・大和駅周辺の取り締まりと再開発

子育て支援の充実

- ・子育て支援をもっと手厚くする
- ・赤ちゃん訪問をチーム制にする
- ・地域差がある。公園や施設は北部が手厚い
- ・義務教育後のサービスも充実してほしい。子育てを大和市にしてもらったと実感でき、住み続けられるようにする。交付金などではなく
- ・子どもの支援だけでなく、お母さんの支援も（例えば、子どもが具合が悪くなったときに、お母さんの代わりに子どもを病院に連れて行くのではなく、お母さんの代わりに仕事をしてくれるような制度）

シェアハウスや下宿で出会いの場を！

- ・シェアハウス、下宿(空き室対策と人の出会いを兼ねて)
- ・大学生などシェアハウスの提供
- ・シェアハウスの充実(空き家対策にもなる)若者向け住宅
- ・公営シェアハウスや下宿先を作り、安い住宅で若者の出会いの場もつくる

7グループ (太字はまとめ、細字は個別意見)**テーマ1 大和市中で人口が減っていく原因を出し合おう****保育の環境が整っていない**

- ・ 保育所が少ない
- ・ 駅前に保育園がなかった（自分が子育てしている時に）
- ・ 保育環境や教育環境で不便な面がある

教育環境が整っていない

- ・ 子どもの通学が不便（特に南部では小中学校が近くにない）
- ・ レベルの高い学校（高校）が少ない

魅力的な施設が大和市中にない

- ・ 魅力的な施設が少ない
- ・ 図書館が少ない
- ・ あっても本が少ない、古い（駅前の図書館は本が揃っていない）

大和市中の良いところが伝わっていない

- ・ 大和市中の良いところってどこだろう（良いところをわかりやすく示していない）
- ・ 大規模公園があり緑が豊かなのだがうまく使っていない

環境が悪い

- ・ 騒音（基地）がスゴい
- ・ 最初はびっくりしたがもう慣れた
- ・ 仕事ばかりで時間がない
- ・ 子どもについて考える時間がない

子育てへの金銭的不安

- ・ 子どもの教育費が高い
- ・ 子育て、教育費にお金がかかる
- ・ 食費と教育費が高くなる

子育てに時間がかかる

- ・ 子育てに時間がかかる

技術の進歩が人を少なくしている

- ・ 技術が進歩して仕事などで人が必要なくなっている（人口が少なくなるのは自然なこと）

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう**親が育児も働くことも両方楽しめるようにワークライフバランスが取れる社会になること**

- ・ 育児と勤労を両方とも楽しめるようになる
- ・ 子育てしていても働きやすい環境がある
- ・ 駅の近くに保育環境が充実している
- ・ 共働きをしなくても十分な収入が得られ、育児や教育ができる

子どもにとって楽しい環境になること

- ・ 今の子ども達は寂しいので、子ども達が楽しいと思える環境をつくること
- ・ 遊べる場所がたくさんある
- ・ 子どもと親の距離を近づけること（近くで保育ができる）
- ・ 三世代が近くに住めること

近くに通いやすい学校があること

- ・ 学教教育の充実
- ・ 通学時間の軽減
- ・ 学区の改正や合併をするなど、近くに通いやすい学校がある

他の市からも注目されるように大和市のブランド力をアップする（大和市中で子どもを産み育てたいと思えるようにする）

- ・ せっかく良いことをやっても市民が知らないのもっと知らせる
- ・ 家の近くの施設を充実させてレベルアップさせる
- ・ 他の市からも注目されるようになる
- ・ ブランド力をつけてみるべき
- ・ 車がなくても生活できるようにする
- ・ 大和市の縁を活かす

8グループ（太字はまとめ、細字は個別意見）**テーマ1 大和市で人口が減っていく原因を出し合おう****希望が持てない**

- ・若い世代の方が結婚、出産に希望が持てない
- ・そもそも結婚したいと思わない
- ・結婚→子育ての社会的見方が強いから
- ・結婚しない→子どもも持てない
- ・生活の考え方（が違う）

女性の社会進出

- ・女性の社会進出
- ・キャリアに問題がある（出産や子育てにより一線を離れると遅れが出る）

サポート体制（不足）

- ・サポートしてくれる家族、周りの人がいない（核家族の問題）
- ・女性のライフスタイルに合わせたサポート選択が少ない（サポート内容が全般的過ぎる）
- ・子育てのサポート体制が不足

子育てに関する情報不足

- ・子育て情報を得る場がない
 - 子育てしている人同士
 - 若者や子育てをした事の無い人との情報交換
- ・女性の生き方の選択肢が若い時から見えていないから（子育て、仕事など）

テーマ2 人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう**適齢期前の出会いの場となるような学校単位での成人式**

- ・成人式を小規模にして出会いの場につなげる
- ・成人式→同窓会＝出会い

自分の住んでいる地域を好きになるように地域愛着を向上させるイベント

- ・まつり、イベント、地域への愛着
- ・地域のイベント（阿波踊り等）の活性化

大和駅周辺の治安を良くする＋イメージアップの両方が必要

- ・治安の悪いイメージをどう転換するか
- ・治安を良くする！子育ても安全に
- ・大和駅周辺の治安を良くする

遊べないところでは子育てに希望が持てないので、子育て環境を向上

- ・子どもが運動などをするために公園を増やす
- ・ボール遊びができる公園
- ・住居整備→子育て世代
- ・子育て支援の保育所とか教育関係
- ・施設が少ない所を増やす（病院・交番など）
- ・駅近の保育・学童施設充実

女性の生き方サポートの情報を届ける

- ・女性の生き方やサポートの情報提供
- ・（改善が難しい）悪い条件を差し引いても「良い大和市」と思えるようなアピール
- ・結婚して子どもを産んだ後も魅力的なところをアピールする

(4) 午後の意見交換 | ワークショップ

●進め方

- ・大和市の人口減少を食い止めるためのキーワードと理想の姿をテーマに、具体的な問題を洗い出し、将来に向けた解決イメージを出し合いました。
- ・4～5人のグループで1つのテーマについて意見交換をしました。
- ・整理した課題について、グループ内で投票を行い、重要度を確認しました。
- ・最後に、課題に対する解決策を短冊に書いてグループごとに発表し、最も大切だと思ったものについて投票を行いました。

グループ①②：「若者が出会える機会や場があるまちにするには」

グループ③④：「地元で子育てしながら働くことができるまちにするには」

グループ⑤⑥：「子育て支援の充実や情報を市民にもっと届けるには」

グループ⑦⑧：「安心して子どもが遊ぶ、育つことができるまちにするには」

午後の進め方 (13:30~16:15)

4~5 人のグループでそれぞれ1つのテーマについて意見交換します

1) 8つのテーブルに分かれて座ります

名札にお示ししたグループにご着席ください。

2) 午前中の議論を振り返ろう

進行役が午前中の議論をまとめて共有します。

3) 30秒自己紹介

プロフィールシート、テーマについて紹介します。

4) テーマの確認

テーマに関する補足や、午前中の議論の中で出たテーマに関する意見を振り返ります。

5) テーマに関する課題を整理しよう

テーマに関して問題だと思うことを一人3~4枚付箋に書き出し、グループの中で同じような意見があれば集約するなど、課題の整理をします。

6) 重要な課題から解決アイデアを出し合おう

整理された課題はシール投票で重要度を確認し、重要度の高いものから、将来に向けた解決イメージを出し合います。

7) アイディアをまとめて発表しよう

解決アイデアの中でシートにとりまとめ、発表者を決めて全体でアイデアを共有します。

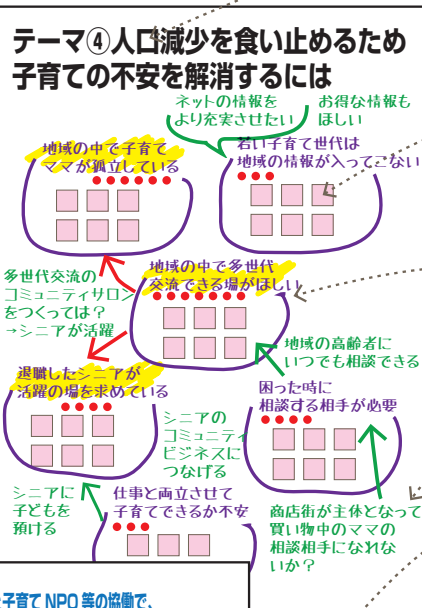
8) 会場全体で出てきたアイデアにシール投票

他のグループのアイデアを含めて、大切だと思うアイデアにシール投票をします。

9) まとめ

本日の議論の成果を確認します。

後半議論の横断紙のイメージ



- テーマ④**
 企業と行政と子育てNPO等の協働で、子育て世代に地域情報を届けるインターネットのサービスを充実させる
- テーマ④**
 退職後のシニアが、地域のNPOと連携しながら子育ての相談に乗れる場をビジネスとして運営する。行政はノウハウのサポート
- テーマ④**
 地域の子育てをする親を地元のシニアが気軽に見守ることのできる多世代コミュニティサロンを行政や社協、子育てNPOが連携してつくる
- テーマ④**
 地元商店街と子育て系の団体が連携し、「子育てママの相談に乗れる商店街」として確立し、買い物中に気軽に声かけや悩み相談ができる体制をつくる

後半議論のまとめシート

●流れとまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていたきました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 若者が出会える機会や場があるまちなするには

1グループ	異性と出会うために踏み出す最初のきっかけがなかなかない	世話好きなおじちゃん、おばちゃんが、出会いの一步を踏み出させるために、若者向けの下宿やシェアハウスを運営する	2グループ	子どものころから人と楽しく話せる環境をつくるのが大切	子どものうちからコミュニケーション能力、自己アピール、社会や他人に関心を持つ自由研究をつくらう
	仕事や趣味で充実しているため独身でも問題がない人が増えている	市と学生たちの協力を元に、結婚の幸せ像と現実的な出産などのデータを発信し、未婚者を焦らせる		結婚以外に仕事や趣味で幸せがある	若者の結婚に対するイメージ UPのために、大和市での結婚、子育てについてのライフスタイルマガジンの発行
	同じ好みや立場の人と出会う機会が少ない	共通の趣味を持った人を集めてイベントを企画・実行することで、まず気楽に付き合うきっかけをつくる		若者の共同作業への不慣れ	大和市の既存のイベントやお祭りに参加してもらい、スマートフォンを活用した「出会い」をテーマにしたボランティアやゲームに関するアプリを市のクレジットで作成しよう
	異性と出会った後に、若者が主体となり楽しめる場所が少ない	「運命の人、見つけませんか？」をテーマに、市外も含めた学生や子どもに企画協力してもらい、出会いスポットやストーリーをつくり、外に出るきっかけと結婚を実現させる		ゲーム、スマートフォン、PCに依存しすぎている	若い人の興味が多様化、結婚の優先度下がる

テーマ② 地元で子育てしながら働くことができるまちなするには

3グループ	働き先が少ない	働くママを増やせ！資格取得応援講座を無料や格安で市が企画	4グループ	職場との距離感、交通の便	いろいろな送迎バスの一本化プロジェクト 幼稚園バス、職場送迎バス、マンション送迎バス、病院、習い事→組み合わせて便利にコストダウンして運行
	放課後広場の充実	子どもにさみしい思いをさせない！！現在、週3回の放課後ひろばを学生ボランティアなどで毎日実施！！子どもも学生も働くママもみんなhappy！！		預けられている間、親が働いている間の子どもの環境が課題	「幼老ホーム」保育園、幼稚園と老人ホームなどの一体化 高齢者の人が子どもの世話をし、ボランティアもやりやすい（職場体験、学生アルバイトも…）
	土日に預けられない			子どもを預ける不安	
	小学校の部活が無い				
	働く場と子育ての場の距離が遠い	フリーワーキングスペースと保育を一つの施設にした		親子の時間少なくなる	近くの空き家を活用し（規制緩和で使いやすい）安心感が得られるように、職場に託児所をつくらう
ファミリーサポートをもっと使いやすく	仕事+保育＝「FUTABA」の開設	働く時間の制約により、子育てしながらだと選択肢がなく、短い時間で乳児をかかえて残業などが難しい	大和市子育て支援ネットワークをつくらう ①子育てQ&A ②自宅で仕事（子どもと一緒に自由な時間で。企業から依頼、募集、仕事のマッチング） ③市への要望 ④市のサービス紹介		
今の施設を活用した工夫ができないか	働くママをお手伝い！市内主要ポイントから託児施設への送迎バスシステム（幼稚園バスとも連携した集中送迎システム） 児童館の有効活用	職場復帰が難しい。子育て中に自由に動けずキャリアが途切れる			

テーマ③ 子育て支援の充実や情報を市民にもっと届けるには

5グループ	子育てのまち大和のPRが足りない	婚姻届を出すときに子育て・妊娠の支援サービス情報をピックアップして渡そう	6グループ	情報発信、PRを充実する	大和市の良いところ、良い取り組み、進んでいるところを ①公式 Twitter で発信、②祭の場で口コミで伝えたりチラシで配付する
	市として調べられる人に情報が届くようにすることが大切	防災放送やゴミ収集車の放送を有効活用して、地域の祭やイベント情報を発信しよう		外国人など情報が伝わりにくい人への支援ができないか	子育て情報を伝わりにくい人(外国人や広報をあまり読まない若い人など)に伝えるために、身近なお祭りを企画して口コミで伝える。帰る時はみんな友達!!
	子育て支援サービスはあるが物足りない	目安箱を設置し、回答が目に見える形で伝わるようにしよう		子育てを支援する施設や学校の充実	企業と連携して、親の居場所や子どもの遊び場、事業所内保育所をつくる
	同年代ぐらい共感できる・話せる仲間と出会いの場が必要	お母さんが集まる場に市の方が出向くオープンハウスを実施し、当事者に具体的に話を聞こう			
	子育て支援施設に地域差がある	大学生が小学生の面倒を見る仕組みをつくり、「子どもの時にお世話になった!」といえる関係をつくらう			

テーマ④ 安心して子どもが遊ぶ、育つことができるまちにするには

7グループ	子どもの遊ぶ公園に制限が多い(ボールの使用はダメ)	身近な公園で、子どもがのびのび遊べる(たとえば、ボール遊び等)フェンスをつけるような、子どもの遊びを豊かにする予算をもっと優先的に考えてほしい	8グループ	ボール遊びなど球技ができる公園がない	みんな、ボール遊びがしたい!安全にボール遊びができる「ルール」と「環境」を工夫してつくらう
	放課後子ども教室がある	放課後子ども教室に高校生ボランティアの活躍の場をつくり、小さな子どもと触れ合い、コミュニケーション力をつける機会に		子どもが楽しみながら学べる場所が身近に少ない	「学び」を「遊び」にする!子どもの「知的好奇心」をくすぐる機会を充実させよう
	子どもと地域のつながりが、断たれている。「あいさつ」もダメ	地域と親の関係を育てることで子どもを地域で見守り、安心して外で遊べることで安心して働きに行ける環境をつくらう		子どもが自分一人で興味を持って遊べる場所がない	もっと学校のスペースをフル活用!「地域」で「遊び」をプロデュースするチームをつくらう
	共働きだと外で子どもが遊ぶときの見守りの目が少ない	親と「地域」のつながりを意識してつくっていくために地域に子どもだけでなく親も積極的に関わる		不審者情報が比較的多く、すごい不安感がある	治安の不安は地域でなくそう!「子ども」が安全安心に移動ができるエリア・ルートを、地域の見守り体制でつくりあげよう
		繁華街(特に大和駅)の夜が怖くて、子どもの外出が限られる			



●詳細結果

■グループ1 若者が出会える機会や場があるまちにするには

●議論の流れ

- ・そもそも出会う機会や場が本当にないのか、という意見も踏まえ、なぜないのか、解決するためにはどのようにすればよいのか、という流れで意見交換を行った。
- ・現代は、若者が異性との出会いに消極的であったり、興味が薄かったりするので、ひと昔前のように、世話好きな年配の方が、若者を引き合わせるきっかけをつくるとよいのではないかという意見があった。そのひとつの方法として、下宿やシェアハウスを年配の方が運営し、若者が必然的に異性と顔を合わせることで、出会う場とすることができ、さらに年配の方の働く場づくりにもつながるという意見があった。
- ・異性との付き合いや結婚に興味がない若者に、異性と出会いたくなる仕掛けづくりとして、幸せな夫婦像のPRが意見として挙げられた。一方で、妊娠・出産適齢期など現実的な数値データを知ること、結婚を考えるきっかけにつながるという意見が挙げられた。
- ・また、お付き合いに発展する可能性が高い、共通の趣味や好みを持った人同士が集まる場をつくることが提案された。出会うためだけに設定された場よりも、趣味などを通じた出会いのほうが気楽に付き合うきっかけになるという意見も出された。
- ・一方で、独身者の出会いを目的にしたツアーやイベントを企画し、早い段階でお付き合いに発展できるような仕掛けも提案された。場所としては、出会い、また出会った後も、出かけられる名所や見どころを、出会いをキーワードにご利益があるスポットなど、ストーリー性を持たせ、大和市の新たな名所としてもPRしていきたいという意見があった。
- ・全体を通して、まず外に出て、人と会うきっかけをつくることが大切だという意見があった。

課題（論点・個別意見） （◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
<p>1</p> <p>異性と出会うために踏み出す最初のきっかけがなかなかない（◎4人） 〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの普及で直接人と対面して話すことが苦手になっている ・核家族化により、近所の人など人との付き合い方が少ない親の元に育っている ・LINE や SNS などの発達で、人と直接話さなくなっている ・インターネット上での出会いが増えているが、ほとんど失敗している ・インターネット上での出会いが増え、個人情報の流出が増えている ・個人情報保護の課題がある 	<p>世話好きなおじちゃん、おばちゃんが出会いの一步を踏み出させるために、若者向けの下宿やシェアハウスを運営する （シール投票数4票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期もふくめ下宿やシェアハウスなどに住んでもらうことで、生活費の節約にもなる ・年配の方に運営・住み込みをしてもらうことで、高齢者の働く場づくりにもつながる ・空家を現代風に設備を整えることで、空家対策にもなる ・ここで出会いのために一步踏み出すことで、若者も高齢者も外に出るきっかけになる ・不動産屋や空家所有者、建築家などに協力してもらう
<p>2</p> <p>仕事や趣味で充実しているため独身でも問題がない人が増えている（○4人） 〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を中心の生活になり一人でよいと思う人が増えている ・相手がいると面倒くさい、時間がない、一人の方が楽という考え方が増えている ・お見合いが減ってきている ・理想が高すぎるためお付き合いが長続きしないのでは 	<p>市と学生たちの協力を元に、結婚の幸せ像と現実的な出産などのデータを発信し、未婚者を焦らせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せな夫婦取材し、ポスター、雑誌、広報などにより多くの人に覚えてもらう（施設の待合室、電車などへの掲示） ・結婚式を挙げて多くの人に幸せな姿を見てもらう。このための式場をつくり市のPRポイントにする ・出産適齢期や不妊治療などの情報もきちんと伝えられるようにする
<p>3</p> <p>同じ好みや立場の人と出会う機会が少ない（○3人） 〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味やサークル活動を盛んに行う必要がある 	<p>共通の趣味を持った人を集めてイベントを企画・実行することで、まず気楽に付き合うきっかけをつくる（シール投票数6票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動や音楽などのテーマごとに、でかける企画をつくる ・企画は参加しやすいよう独身者以外も参加できるようにする ・企画には若者の世話人となる年配者も参加する ・会場は市が提供し、結婚関係企業と市が提携した取り組みになるとおもしろい
<p>4</p> <p>異性と出会った後に、若者が主体となり楽しめる場所が少ない（○1人） 〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会った後に遊ぶ場所が少なく盛り上がれない ・泉の森や駅前にイルミネーションを設置するとよい。今の駅前のイルミネーションはセンスがよくない ・駅前のストリップ劇場はよくない 	<p>「運命の人、見つけませんか？」をテーマに、市外も含めた学生や子どもに企画協力してもらい、出会いスポットやストーリーをつくり、外に出るきっかけと結婚を実現させる（シール投票数2票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念写真撮影スポットや、名所、見どころなどを、駅近くや季節ごとにつくる ・駅前にイルミネーションをつけたクリスマスツリーを飾る ・出会いの御利益があるなどストーリーをつくり広める ・「運命の人、見つけませんか？」をテーマにバスツアーを企画し実施する ・企画は学生や子どもに手伝ってもらう

5	<p>社会人になってから会社関係以外の人々と交流する機会が少ない</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市に大学がないため若者が流出してしまう ・学校間や会社間での交流がない 	
6	<p>市のイベントが少なく、イベントなどで異性と出会う機会が少ない</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が参加しやすい市のイベントが少ない、または伝わっていない ・地域コミュニティごとのアクティビティの奨励が不足している 	

●作業シート

① 世話好きなおじいさんおばあさんが、出会いの1歩をふたぎのために、若者への下宿やシェアハウスを運営する(住んでもらう) (不動産屋、空家所有者、建築家など)

② 市と学生たちの協力を元に、幸せ像と現実的な出産などのテーマを発信し、未婚者をあせらせろ (取材、ポスター、雑誌、広報、ほかの待合室の掲示) ツアー宣伝を行う

③ 趣味を持った人を集めてイベントを企画し実行すること、まず気楽に付き合うきっかけを作る (会場:市 企画協力:結婚内見の会等 連携)

④ 「運命の人見つかりますか？」をテーマに市外も含めた学生に子どもの企画協力により、出会い、スポット、ストーリーをつくり大和をPR、外へ出ると、きっかけと長いお付き合い(結婚)を実現させる

テーマA 1. 若者が出会う機会や場所が乏しい理由には?

その① なぜ出会いがない??

- ① 学校(高校)、社会人の交流がない
 - 大和市: 学校間、卒業生間、交流会(有)
- ② 日常での交流(市のイベント)
 - 若者が参加しやすい市のイベントが少ない、または伝わっていない
 - 地域コミュニティごとのアクティビティの奨励が不足している
- ③ 同じ趣味・同じ世代の出会い
 - 趣味やサークル活動、結婚内見
- ④ 出会いの場が主体的に乏しい
 - 出会いの場(結婚内見)など
 - 出会いの場(結婚内見)など

② 解決のアイデア

出会いの場が乏しい理由(短期的)

- ① 下宿、シェアハウスなど(短期的)
 - 今月に設備の整った空家対策に協力
 - 年配の市営空家 → 高齢者の憩いの場にする
 - ふたぎ出す → 年配若者もあふれ外へ出る
- ② 趣味やサークル活動
 - 不動産屋、所有者、白心、建築家等
 - 結婚内見の会等
 - 单身用とその他を別々募集
 - 世話好きおじいさんおばあさんが
- ③ 会場の提供
 - 市外の学生に呼び出す

出会いの場が乏しい理由(長期的)

- ① 制度と実行の問題
 - ・幸せの夫婦を確かに見せよう → 沢村、取材、雑誌、大和
 - ・結婚内見もあせらせよう → ツアー企画大和
 - 会場をつくる11月以降
 - 全国から募集する
- ② 出会いの場が主体的に乏しい
 - ・名所、見どころを巡る記念写真
 - ・駅近くなど、川222ツツ、結婚内見
 - ・ストーリーをつくる
 - ・出会いのツアーの企画、発信(大和)
 - ・「運命の人見つかりますか?」
 - ・子どもと学生に発信、してもらう

市外の学生に呼び出す

■グループ2 若者が出会える機会や場があるまちにするには

●議論の流れ

- ・ 若者の出会いのための課題として多く話し合われたのは「結婚以外に趣味や仕事で幸せがある」、「若者の興味が多様化して結婚の優先順位が下がる」、「ゲームやスマートフォン、PCに依存しすぎている」など、ライフスタイルの変化による部分が挙げられた。
- ・ 他にも、近年の若者の傾向として、「若者の共同作業の不慣れ」や「出会いの場を設けても一人で参加できない」、「子どものころから人と楽しく話せる環境をつくりたい」、「仕事以外での出会いがない」など、いわゆる「草食系」といわれる思考の変化が課題として挙げられた。
- ・ 解決アイデアとしては、まず教育の観点から、子どものうちから他人や異性と楽しくコミュニケーションをとれるように社会性を育むための自由研究を導入するというアイデアが出された。
- ・ 出会いの場を設けても一人では参加できない

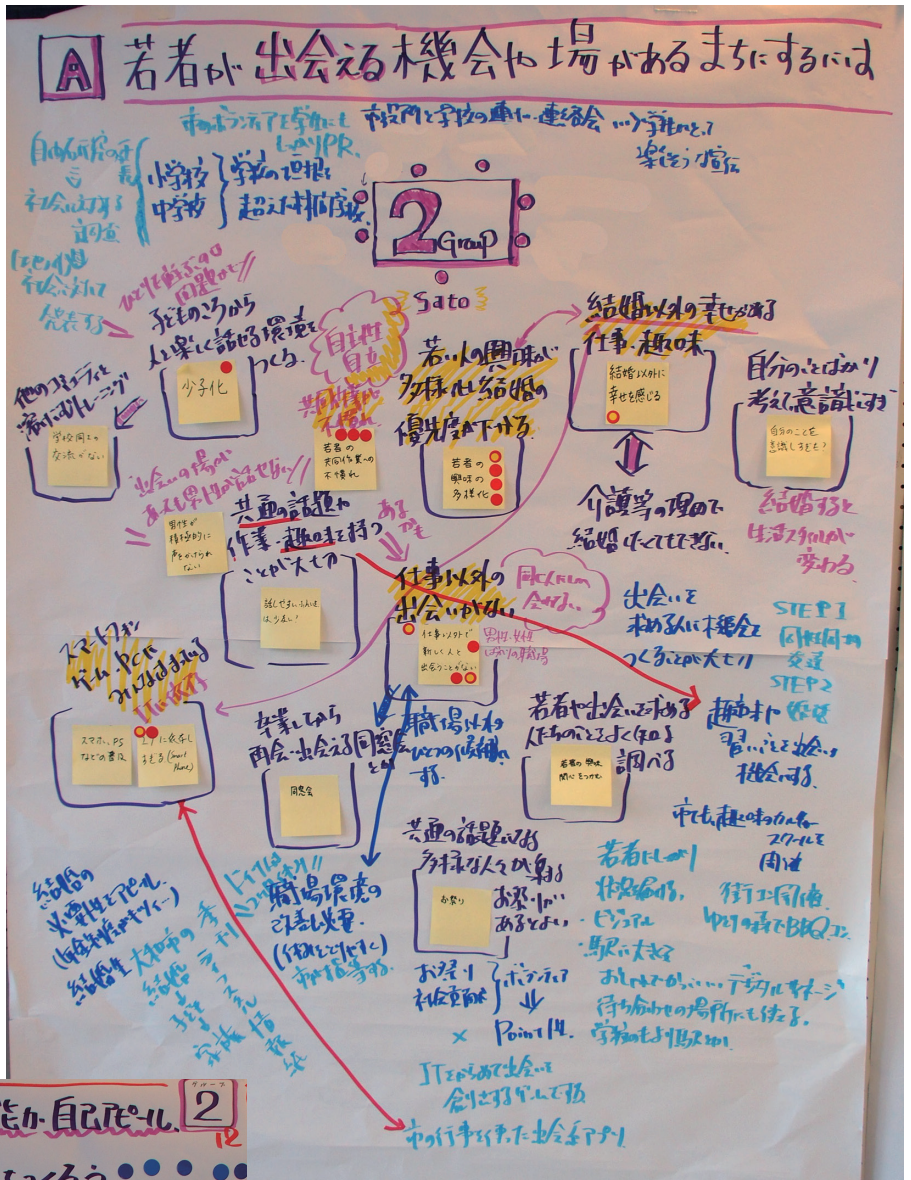
人のために、一緒に参加できる同性の友人をはじめにつくることが大切というアイデアから、2ステップでの婚活の機会を設けるというアイデアが出された。

- ・ 若者の結婚へのモチベーションを上げるために、大和市で結婚して子育てをすることの素晴らしさをおしゃれに伝えるライフスタイルマガジンを発行するというアイデアも出された。
- ・ 大和市の事業でスマートフォンを活用した出会い応援アプリを開発し、大和市内のイベントやお祭りの機会を利用して、ゲーム感覚で若者の出会いを応援する仕組みのアイデアも出された。
- ・ さらに、全体を通して、市の情報が若者に届いていないという課題が指摘され、学校や最寄り駅などを使いながら、ピンポイントで情報提供ができるような改善が求められた。

課題（論点・個別意見） （◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
<p>1</p> <p>子どものころから人と楽しく話せる環境をつくるのが大切（○1人）</p> <p>（意見の付箋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化 ・ 他のコミュニティと溶けこむトレーニングが大切 ・ 学校同士の交流がない ・ ひとりで遊ぶのは問題かも ・ 小学校、中学校、学校の垣根を超えた林間学校 ・ 市のボランティアを学生にもしっかりPR ・ 市役所と学校の連携、連絡会 →学生にとって楽しそうな宣伝 ・ 自由研究の延長 →社会に対する調査→地域社会に対して発表する 	<p>子どものうちからコミュニケーション能力、自己アピール、社会や他人に関心を持つ自由研究をつくらう（シール投票数12票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の学校やクラブと合同で開催 ・ 自由研究の社会化

2	<p>出会いの機会を設けても1人だと参加できない (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独身で30歳すぎると周りが結婚して、ひとりになってしまう 	<p>STEP1 で同性の友達づくり、STEP2で婚活の2段階の仕組みをつくろう (シール投票数0票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・STEP1、同性の友達づくり ・STEP2、婚活の機会の仕組みをつくろう ・出会いを求める人に機会をつくるのが大切
3	<p>結婚以外に仕事や趣味で幸せがある (●1人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚以外に幸せを感じる <p>→介護等の理由で結婚したくてもできない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことばかり考えて意識し過ぎ <p>→結婚すると生活スタイルが変わる</p>	<p>若者の結婚に対するイメージUPのために、大和市での結婚、子育てについてのライフスタイルマガジンの発行 (シール投票数5票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和市の季刊ライフスタイル情報誌を発行する ・大和市で結婚し、子どもを授かり、家族に囲まれる魅力的な将来像を描けるようにする ・ゆとりの森等で撮影し、実際に取材する ・おしゃれで出演したくなるようなものにする
4	<p>若者の共同作業への不慣れ (○3人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同作業が不慣れ、自主性、自立 ・共通の話題や作業、趣味を持つことが大切 ・話しやすい雰囲気は少ない? ・男性が積極的に声をかけられない <p>ゲーム、スマートフォン、PCに依存しすぎている (●1人○1人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ、PCなどの普及 ・ITに依存しすぎている(スマートフォン) ・共通の話題になる多様な人々が集まるお祭りがあると良い 	<p>大和市の既存のイベントやお祭りに参加してもらい、スマートフォンを活用した「出会い」をテーマにしたボランティアやゲームに関するアプリを市のクレジットで作成しよう (シール投票数5票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITをからめて出会いを創り出すゲームをする ・市の行政を使った出会い系アプリ ・趣味や習い事を出会いにする機会にする ・市でも、趣味のカルチャースクールを開催 ・お祭り、社会貢献、ボランティア→ポイント制
5	<p>若い人の興味が多様化、結婚の優先度下がる (●1人○3人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の興味の多様化 <p>・若者の興味関心を調べる 若者や出会いをを求める人たちのことをよく知る、調べる</p>	<p>若者に情報を届ける工夫をしよう (シール投票数1票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル、駅が大きくて、おしゃれでカッコいいデジタルイメージ ・待ち合わせの場所にも使える ・学校の最寄り駅に設置するなど、学校や鉄道事業者とも連携する ・若者にしっかり状況を届ける ・結婚の必要性をアピール(年金制度が厳しい)
6	<p>仕事以外で新しく人と出会うことがない (●2人○2人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事以外に出会いがない ・同じ人にしか会わない、男性、女性ばかりの職場 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場以外、ひとつの候補にする ・職場環境の改善必要。(休みをとりやすく)市が指導する

●作業シート



子どものうちから、コミュニケーション能力を自己アピール。2

社会と他に関心を持つ機会をわらう。(下2巻)

(例) 他校との交流イベント、自由研究発表会

出会うの機会を設けておくには参加が必要。2

(独身の30歳以上の男性は結婚してはならない...)

STEP1 同性的な交友、**STEP2** 婚約の機会

若者の「結婚」に対するイメージの転換。2

大和市での結婚・子育てに関するイベントの開催

大和市の既存のイベントお祭りに参加してもらう。2

スマートフォンを活用し、出会いイベントの開催

若者の情報発信の工夫。2

デジタル(文字の入り方)、馬場は大きめに書いてみる

学校と連携する。1.2

■グループ3

地元で子育てしながら働くことができるまちにするには

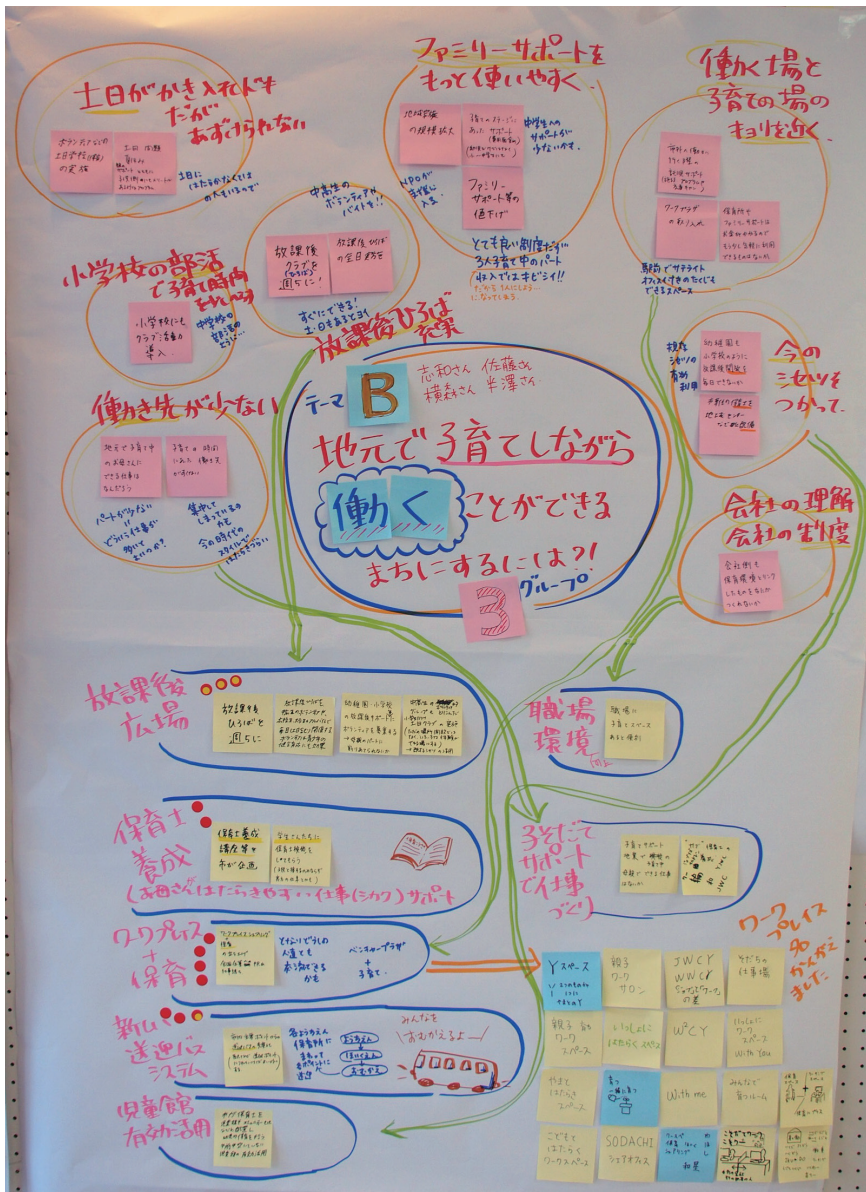
●議論の流れ

- ・「子育てしながら働く」という選択をした場合、どのような課題があるかについて話し合いを行った。最も話が広がったのは、出産前にしていた仕事をどのような環境があれば続けられるかという視点であった。また、「子どもを預ける場所、預ける環境」のあり方についても多くの意見が出された。保育所、ファミリーサポート、児童館や放課後ひろばのようなもので既に公共的な子育てサポートはあるが、うまく利用できていない現実を打開したいと思っている参加者が多かった。
- ・具体的には、土日に働かなければならない不動産業や飲食業に従事している人も多いことから、土日に預けられる保育所をファミリーサポートなどの制度と連携させるアイデアや放課後ひろばの実施日を増やすために学生のボランティアや近隣の主婦による有償ボランティアの配置などについてアイデアが出された。
- ・業務によっては、預けず続けることもできるのではないかとの意見も出た。たとえば都内に通わなくてもインターネットなどを使って働くことができる共同保育付きのサテライトシェアオフィスを設置するなど子育てと仕事を一緒にできる新たな施設のアイデアが出された。運用を子育て中の保育士や地域住民や学生ボランティアが行うアイデアのほか、子育て中の人同士が意見交換できるサロンの設置などの具体的なアイデアにも話が広がった。
- ・既存のサポートの組み合わせや施設の利用についても話が広がった。コミュニティセンターや児童館の利用が少なかったり、利用がなかったりする時間を利用して保育環境をつくるなど、使われづらい時間の公共スペースの有効活用アイデアが出された。さらに、放課後ひろばの回数を増やすため地域や学生のボランティアで支えるだけでなく、ファミリーサポートを利用するというアイデアも話し合われた。
- ・既存の施設をうまく使うためにバスなどの交通手段の充実についても意見が出された。ここでは公共の運用だけでなく、民間の保育所や幼稚園との連携についても意見が出された。
- ・オフィスに通うという従来のスタイルだけでなく、他の就業形態について行政から提案があったり、制度があったり、施設があったりすると良いとの意見もあった。

課題（論点・個別意見） （●グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
<p>働き先が少ない（○2人） （意見の付箋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元で子育て中のお母さんにできる仕事は何だろう ・子育ての時間にあつた働き先が少ない 	<p>働くママを増やせ！資格取得応援講座を無料や格安で市が企画 （シール投票数1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成講座等を市が企画 ・学生さんたちに保育士研修をしてもらおう（子どもと接するのみならず、裏方仕事とかも） ・子育てサポート事業で子育て中の母親でできる仕事は無いかな ・サブ保育士の養成

2	放課後ひろばの充実 (●3人) (意見の付箋) ・放課後ひろばを全日実施 ・中高生のボランティアやバイトを ・すぐできる!土日もあると良い	子どもにさみしい思いをさせない!! 現在、週3回の放課後ひろばを学生ボランティアなどで毎日実施!! 子どもも学生も働くママもみんなhappy!! (シール投票数8票) ・放課後ひろばを週5に! ・放課後ひろばを中高生のボランティアや高校生大学生のアルバイトで毎日(土日含む)開催する。ボランティアは青少年の育成にも効果 ・幼稚園、小学校の放課後サポート等をするボランティアを募集する→母親のパートに割り当てられないか ・中高生のボランティア的グループも取り込んだ、小学生向け土日クラブの実施(ただの場所か違法では無くしているいろいろな体験ができる場にする)→既存施設の活用
	土日に預けられない (意見の付箋) ・ボランティアなどの土日保育の実施 ・土日問題・夏休み問題は、親のサポートとともに子どもにもメリットがあるようなプログラムを	
	小学校の部活が無い (意見の付箋) ・小学校にもクラブ活動を導入	
3	働く場と子育ての場の距離が遠い (○4人) (意見の付箋) ・市外へ働きに行く際の託児サポート(施設、プログラムや交通機関) ・ワークプラザの取り入れ ・保育所やファミリーサポートはお金がかかるのもう少し気軽に利用できるものはないか	フリーワーキングスペースと保育を一つの施設に仕事+保育=「FUTABA」の開設 (シール投票数1票) ・ワークプレイスシェアリング+保育の立ち上げ 全国企業へのPR ・隣同士の人とも交流できる ・ベンチャープラザ+子育て
	ファミリーサポートをもっと使いやすく (意見の付箋) ・地域家族の規模拡大(NPO支援の拡大) ・子育てのステージにあったサポート(費用面含め) →幼児だけでなく小~中学生にも ・ファミリーサポート等の値下げ →3人目は無料など →子どもが増えれば負担も増えてしまうと「じゃ、一人にしておこう」となってしまうので	
4	今の施設を活用した工夫ができないか (●1人○2人) (意見の付箋) ・幼稚園も小学校のように放課後開放を毎日できないか ・市専任の保育士を地域センターなどに配置	働くママをお手伝い! 市内主要ポイントから託児施設への送迎バスシステム(幼稚園バスとも連携した集中送迎システム) (シール投票数7票) ・市内の主要スポットへの送迎バスの充実(駅などの送迎ポイントに連れて行けばよいようにする)
		児童館の有効活用 ・市が保育士を児童館やコミュニティセンターなどに配置し、幼児の保育を行う。午前中空いていない児童館の有効活用
5	会社の理解・会社の制度 (意見の付箋) ・会社側も保育環境をリンクしたものを何かつくれないか	職場環境の向上 ・職場に子育てスペースがあると便利

●作業シート



働くママを増やせ! (無料が格安で) 3

資格取得応援講座を市が企画

働くママを応援!! 3

市内主要ポイントから託児施設への送迎バスシステム (幼稚園バスと連携した集中送迎システム) おむつに行は-!!

子どもにさびしい思いさせない!! 3

現在週3回の放課後ひろばを学生ボランティアなどで毎日実施!!

子どもも学生も働くママもみんなHAPPY!!

■グループ4

地元で子育てしながら働くことができるまちにするには

●議論の流れ

- ・ 子育てしながら働くための課題として、「働く時間の制約」「職場復帰の難しさ」「保育園等への入園の難しさ」「親子の時間の減少」などが挙げられた。なかでも印象的だった意見が2つあった。1つは、直接的な子育て支援ではなく、母親自身が思い通りに動ける環境やサポートがほしいという意見だった。子育てを体験し、想像以上に身動きがとれず、仕事への復帰の難しさも感じている当事者が、母親自身が頑張りたいと思える側面的支援の必要性を訴えていた。2つ目は社会的に将来不安が増大している中で、これまで以上に子どもに良い体験や教育をしてあげたいというニーズが高まっているという意見だった。単に子どもを預けられる場所があれば良いのではなく、保育や育児の現場での体験の質が同時に求められていることが分かった。その他に、子育てと親の介護の問題が同時に発生するという課題も挙げられていた。
- ・ アイディアはなかなか出てこなかったが、「①自宅や自宅の近くで働けること」「②子どもと一緒に働きにいけること」「③市の信用力によるバックアップがあること」「④まち全体の様々なリソースで支えること」を方針として検討した。
- ・ 課題のシールは「働く時間の制約」に集まり、自宅と職場との移動時間を縮めるためのコミュニティ交通のアイディアや自宅で仕事をするための支援の仕組みなどのアイディアが挙げられた。
- ・ 保育施設の不足の課題も関心が高く、職場に託児所をつくったり、空き家を活用するアイディアや、高齢者施設と保育園の併設やベテランママさんによるサポートなど、人的資源を活用するアイディアが出された。

課題（論点・個別意見） （◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1 職場との距離感、交通の便（◎2人） （意見の付箋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の場への移動のしにくさ、交通の便 ・ コミュニティバスも時間が限られる（本数少なく、遠回り） 	いろいろな送迎バスの一本化プロジェクト 幼稚園バス、職場送迎バス、マンション送迎バス、病院、習い事→組み合わせて便利にコストダウンして運行 （シール投票数4） <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ交通の改善 ・ 幼稚園バス+職場の送迎バス組み合わせて、使いやすいコミュニティ交通をつくる ・ マンション送迎バス 病院送迎 習い事の送迎も全部組み合わせる ・ 高齢者の送迎は、規制もある

2	<p>預けられている間、親が働いている間の子どもの環境。良い体験させたい。</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもはその間どこで何を？ 	<p>「幼老ホーム」保育園、幼稚園と老人ホームなどの一体化</p> <p>高齢者の人が子どもの世話をし、ボランティアもやりやすい(職場体験、学生アルバイトも)</p> <p>(シール投票数4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設と、高齢者施設を組み合わせる ・ボランティアもやりやすく(職場体験、学生アルバイト)
3	<p>親子の時間が少なくなる(●1人、○3人)</p> <p>子どもにとって親との時間が大切</p> <p>できる限り親子の時間を増やしたい</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親の時間が減りがち 	<p>近くの空き家を活用し(規制緩和で使いやすく)安心感が得られるように、職場に託児所をつくらう</p> <p>(シール投票数2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に働きに行ける…職場に託児所(安心感ある) ・空き家活用など規制緩和して、安くしては。→働くための垣根をなくす、延長保育も高い
4	<p>子どもを預けられない(認可保育園の入園が困難、時間や年齢に制約がある(塾のおくり迎え))</p> <p>(○3人)</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設が少ない ・認可の保育園の入園が困難 	<p>ベテランママさんに相談したり、預けられる仕組みづくり(市が信用力や制度でバックアップする)</p> <p>(シール投票数0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベテランママさんに相談できる、預けられる ・ベテランママさんの職にもなる
5	<p>働く時間の制約により、子育てしながらだと選択肢がなく、短い時間で乳児をかかえて残業などが難しい(●4人、○1人)</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く場所(保障が効く、時間など)が少ない? ・働いている時に子どもに何かあった時は? ・時間の制約(フルタイム、パートと子どもの保育時間の兼ね合い) ・時間、休みの融通のきく職場 <p>職場復帰が難しい。子育て中に自由に動けずキャリアが途切れる</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアの問題 	<p>大和市子育て支援ネットワークをつくらう</p> <p>①子育てQ&A、②自宅で仕事(子どもと一緒に自由な時間で。企業から依頼、募集、仕事のマッチング)、③市への要望、④市のサービス紹介</p> <p>(シール投票数8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅 or 自宅の近くで働ける→起業する、主婦同士で会社をつくる ・地元で仕事をつくる→インターネットやSNSで仕事のマッチング(市が、信用力を活かして幹事をすると良い) ・市による許可、認可などによる信用力のバックアップ ・大和市子育て支援ネットワーク(相談できるQ&A、企業が求人・マッチング、市への要望、市のサービスも分かる) ・大和に移住したい人も調べられる ・地域の仕事になるかもしれない(キャリアアップの機会、自宅でもできる)
6	<p>子育てにはお金が必要、年収の問題(塾、私立、大学もお金がかかる。働きたいのか?働かざるを得ないのか?)(○1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金が足りない ・時間、年収の問題 	
7	<p>自分自身がかっこいいとおりに働きたい。お母さん自身がガンバリたいと思えるように(動きようがなくなる環境がある)。動けるサポートが必要</p>	
8	<p>将来への不安が大きい</p>	
9	<p>子育て世代は、子育てとともに親の介護に困るケースも多い</p>	

●作業シート



113113の送迎バスの一体化に加え 4

幼稚園バス、職場送迎バス、マンション送迎バス、病院、習い事
 → 組み合わせで便利にラストマイルに運行

保育園・幼稚園と老人ホームの一体化 4

高齢者が 子どもの世話をする
 ボランティア やりやすい (職場体験、学生アルバイトも...)

職場に託児所をつくらう 4

安心感が得られる
 ・近くの空き家を活用にも良い
 ・規制緩和して使いやすく

ボランティアなどに相談したり、預けられる仕組みづくり 4

市が信用力や制度でバックアップする

大和市子育て支援ネットワークをつくらう! 4

(インターネット)

① 子育て Q&A ② 自宅で仕事 ③ 市の要望
 ④ 市のサービス紹介

子どもと一緒に働く場所 (安心感)

子どもと一緒に働く場所 (安心感)

子どもと一緒に働く場所 (安心感)

■グループ5

子育て支援の充実や情報を市民にもっと届けるには

●議論の流れ

- ・まず「出会いの場」として、同年代くらいの共感できる仲間・話せる仲間のようなママ友の存在が紹介され、悩みなど語り合うだけでなく、情報源としても大切で、子どもを産む前に知ることができれば良かったという声が挙がった。すでに市ではプレママ・プレパパ教室という事業はあり、交流の時間もあるが、交流が促されるような後押しの工夫があると良いという意見が出された。
- ・市民討議会は1回きりなので、継続的な場にすることで当事者に意見を聞くような場をつくることができると良いという意見が出された。
- ・施策を考える人と現場の声にギャップがあり、お母さんたちが集まる場に市の担当者が出向くことができないかといった意見も出された。意見を集めるには、現在のサロンのような場はボランティアの人しか来ていないが、そうした場に市職員が出向いたり、児童館やお話会、ショッピングセンターや駅など妊娠している人だけでなく、これから子どもを産み育てる人にアピールするようなこともできると良いといったアイデアや、今回のような「市民討議会」の場ももっと子どもを産み育てる世代にピンポイントに絞って開催するといったアイデアが出された。
- ・子育て施設については、施設の大きさや築年数に地域差を感じるという意見、数が十分かといった意見が出された。具体的な施設として、保育園や病気の子どもが預けられる施設などに対する不安があがった。親が共働きであった方からは、祖父母やママ友、ご近所の方に預けられたと経験談も紹介された。また、子どもの居場所として、藤沢市の公民館主催事業で高校生や大学生が小学生の面倒を見る取組みがあり、自分もお世話になり、現在は自分が面倒を見ているといった経験談が紹介され、こうした取組みが大和市でも行われると良いという提案にまとまった。
- ・子育てのサービスも、すでにいろいろ取組みられているが、赤ちゃん訪問事業が専門的なことを聞きたいのに担当者によって回答が違っていったという意見や、子育てのサービスが子育てをしている人だけでなく、これから子どもを作ろうと思っている人にも伝えられると良いという意見が出された。
- ・上記のような「PR」や「調べられない人に情報が届くように」という点では、流山市のような子育てのまちというイメージ戦略があると良いという意見があった一方、イメージだけでは関心のない人には伝わらないので、関心のある人にすぐに必要な情報が届く方が良いといった意見も出された。
- ・情報の入手としては、欲しいと思ったときにすぐとれるようにWEBの設計を分かりやすくするといったアイデアや、WEBなどの口コミが有用だという意見があった一方、信頼できる人に直接尋ねる方が便利という意見、WEBでは結局詳しい情報までは得られない、WEBが使えない人にも分かるような配慮こそ行政が取り組むべきとして、婚姻届を出した人に子育てに特化した情報を渡すこと、目安箱をアナログでコールアンドレスポンスが見えるようにする、防災無線やゴミ収集車の放送など既存のものをうまく活用し市のイベントなどを地域単位で周知できるようにすると良いといった多様な意見が出された。

課題（論点・個別意見） （◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
<p>子育てのまち大和のPRが足りない（◎1人、○3人）</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての情報を子育てする予定や、検討する世代へ市が発信しているのか？ 	<p>婚姻届を出すときに子育て・妊娠の支援サービス情報をピックアップして渡そう（シール投票数10票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠してから情報を探しに行ったり、情報を提供するのではなく、その前から情報を渡す
<p>1</p> <p>市として調べられる人に情報が届くようにすることが大切（○4人）</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の情報は、子どもをつくらうと思う人にしか需要がない。「駅に広告を出す」等ではなく、ほしい人がほしいときにすぐ見つけれられる工夫が必要 ・Twitter、PSメール、ホームページ、もっと上手に活用できるのでは ・保育に関する情報で具体的なことを知ることができるツールが少ない ・1000以上の事業をつくったと言っていたが、どれぐらいの市民に伝わっているのか 	<p>防災放送やゴミ収集車の放送を有効活用して、地域の祭りやイベント情報を発信（シール投票数6票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の情報を誰でもキャッチできるようにする
<p>2</p> <p>サービスはあるけれど（◎3人）</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの機会は多いが、空回り ・子育て支援について、周辺の市と比べても「良い」とは聞かない 	<p>目安箱＋コールアンドレスポンス（シール投票数1票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答が見える化されて、親しみやすく ・生協の白石さんのように手書きでやり取りが見えると良い ・目安箱の回収日をつける ・目安箱のそばに回答済みのものを貼り、みんなが見られるようにする
<p>3</p> <p>同年代ぐらい共感できる・話せる仲間と出会いの場（◎1人、○1人）</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママ友どこでつくるか知ってる？ ・先輩の子育てお母さんが近くにいない。子育てについての情報が入らない 	<p>当事者に具体的に聞く お母さんが集まる場に市の方が出向くオープンハウス（シール投票数2票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館、お話会、駅、ショッピングセンター、新しくできた場などで行う
<p>4</p> <p>子育ての施設に地域差、数は十分か？（○2人）</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所など子どもを預けるところが少ない ・保育施設は足りているのか。バランスはちょうどいいのか ・市内での地域格差が不満です（北部の施設は少ない） ・病気の子どもを預かってくれる場(保育所等)あるのか？ 	<p>子どもの時にお世話になった！ 大学生が小学生の面倒を見るしくみ（シール投票数11票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市、市全域ではなく公民館主催で実施している ・子どもに親しまれやすい年代が子どもに関わる ・高校生は地域との接点がない

●作業シート



自分も子どものお世話にあたり! 5

高校生や小学生の面倒をみるくみ

藤沢市 公民館 主催で実施しますヨ。 11
しんあきほはな

婚姻届を出すときに 5

子育て支援サービスの情報を
をピックアップして渡す 10

目録箱 + コール&レスポンス 5

回答がみえるにたてて親しみやすく 1

防災放送やゴミ収集車の放送を 5

有効に活用して地域の祭礼イベント情報を
を繋ぎあわせ → 市の情報発信を強化 6

当事者に具体的にきく 5 2

お母さんが集まる場に市の方が出向く
児童館 おはな会 駅 沼田センター など オフショウ 1

■グループ6

子育て支援の充実や情報を市民にもっと届けるには

●議論の流れ

- ・ 課題の出し合いでは、まず大和市内に多い外国人に子育て情報が届いていない現状があるという指摘があり、英語での情報提供があれば外国人も安心して子育てができるという意見が出された。
- ・ 情報発信については、大和市の広報紙のPRだけでは十分ではない、という意見があり、もう少しわかりやすい発信方法がないかという課題が出された。
- ・ 子どもが安心して遊べる環境に関する意見も多く、遊びたいのにいろいろな禁止事項があって自由に遊べないという指摘があった。
- ・ 関連して、治安が良くなると子どもが安心して外で遊べないという意見もあった。
- ・ これについては、警官の配置なども必要だが、周囲の目が大切であり身近なところに親が立ち寄れる場があることは、子どもが安心して遊べる環境とつながるという意見もあった。
- ・ 一方、子育てを支援する施設として学校（教育）や文化施設の質の充実が求められるという意見があった。
- ・ その他、経済的な支援、通院の負担、医療の充実などの個別な課題が出された。
- ・ これらの課題を確認した上で、興味がある内容について投票したところ、①情報発信、②子どもが安心して遊べる環境づくりの2つから議論をスタートすることとした。
- ・ 情報発信については広報も大切だが口コミで地域の人同士が情報を伝えあう環境づくりが大切という意見が出された。
- ・ 人が集まり、口コミで伝えやすい環境として町内会や自治会との連携やお祭りで顔見知りになって情報を伝えるというアイデアが出された。
- ・ このアイデアは外国人と顔見知りになることにもつながり、情報が伝わりにくい人に伝える方法として良いのではないか、という意見につながった。
- ・ また情報の内容としては子育て情報のみならず「大和市の良いところ」を伝えることが必要であるという意見が出された。
- ・ 続いて、大和市の自然環境を活用して子どもが自由に遊べる場所をつくりたいという意見が出されたので、ファシリテーターから「プレーパーク」の事例を紹介したところ、大和市にもプレーパークをつくってはどうかという意見が出された。
- ・ 遊びの場や、子どもを預けたり、親が集まりやすい場所について、大和市には企業が多く、企業との連携でそのような場所をつくれなにかというアイデアが出された。
- ・ 市役所職員に確認したところ、制度上は可能とのことで「事業所内保育所」や「ショッピングセンター内の遊び場」を提案したいという意見が出された。
- ・ また、これら企業連携による保育や遊びの場は大和市の特徴となることから、情報発信の内容としてぜひ調べてPRしたいというアイデアが出された。

課題（論点・個別意見） （●グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1 情報発信、PRを充実する（●2人○1人） （意見の付箋） <ul style="list-style-type: none"> ・大和市のサービスは充実しているということをどう市民へPRするか（どうしたらもっと上手にPRできるか） ・市民以外へのPR（大和市に引っ越してきてもらいたい） ・広報紙に加えて、掲示板やわかりやすい情報提供をする ・昔からいる人と新しく越してきた人のコミュニケーションが少ない 	大和市の良いところ、良い取り組み、進んでいるところを①公式Twitterで発信②お祭りの場で口コミで伝えたりチラシで配付する（シール投票2票） <ul style="list-style-type: none"> ・Twitterは高校生も参加できる ・フォローやリツイートを積極的にやることで協力できる ・お祭りの情報はTwitterでも発信する ・広報は読まない人がいるので、住んでいる人同士の情報が大切 ・「口コミ」は効果が高い（自治会やマンションのコミュニティが中心になる） ・電車広告も目につきやすい ・マンションの掲示板で情報提供 ・ティッシュで配る
2 外国人など情報が伝わりにくい人への支援ができないか（●1人○2人） （意見の付箋） <ul style="list-style-type: none"> ・外国人も安心して子育てができるようにしたい ・英語で情報提供 	子育て情報を伝わりにくい人（外国人や広報をあまり読まない若い人など）に伝えるために、身近なお祭りを企画して口コミで伝える。帰る時はみんな友達！！（シール投票3票） <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の国の自慢料理、バーベキューパーティーを企画 ・自治会にはいない人でもお祭りには来る ・ハロウィン、バーベキュー、クリスマスなどを契機としてイベントを企画する ・世間話の中で情報提供をする ・子ども連れでも話かけやすい
3 子どもが安心して遊べる環境をつくる （意見の付箋） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに良い環境をつくる（公園などの緑を増やす） ・遊びたいのに何でもダメと言われる（子どもが外にでたがらない） ・大きな公園が少ない（高齢者向けの健康遊具はあるが子ども向けのものは少ない） ・高齢者が多い公園は子ども連れにとって遠慮がある 治安を良くする（○1人） （意見の付箋） <ul style="list-style-type: none"> ・治安を良くして子どもの安全を確保（交番や警官を配置） 	泉の森の一部や引地台公園などにプレーパークをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・自分の責任で遊ぶ、冒険遊び場 ・プレーリーダーなど、地域の皆で支える ・親子がいっしょに遊べる（芝生、ボール遊び） ・大和市のPRにもなる

4	<p>子育てを支援する施設や学校の充実 (●1人○1人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の数が少ない (飽和状態) ・ 学校の質が低い (市外に通う学生おおい) ・ 文化施設の設置 (博物館、科学館、美術館など) ・ つきみ野に企業敷地の一部を開放して遊べる場所がある ・ 高座渋谷にログハウスがあり、遊具やアスレチックがある <p>親が立ち寄れる場所が身近にあると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄り向けの施設ばかりではなく若い親でも立ち寄れる場所がほしい 	<p>企業と連携して、親の居場所や子どもの遊び場、事業所内保育所をつくる (シール投票2票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内保育所は地域の人でも使える ・ 市民がほめる (企業もイメージアップ) ・ 買い物の時に子どもを預かってもらえる (遊べる) ・ 親にとっては居場所と遊び場がいっしょにあると、親同士の情報交換もできる
5	<p>経済的な支援が必要 (○2人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お金がなく、子どもを育てる余裕がない ・ 保育園は高いのに入れない 	
6	<p>電車やバスに乗る子ども連れへの配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りに子育てに対する助け (配慮) がない 	
7	<p>交通が不便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通院の負担 (妊婦) 	
8	<p>医療の充実 (○1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の受入体制 (数、時間、待ち時間) ・ 病院の充実 	

●作業シート

6 子育て支援の充実や情報も市民に届けるには

● **経済的支援**

● **子育てを支援する施設や学校の充実**

● **親の居場所**

● **情報発信**

● **企業と連携**

● **交通の不便**

● **医療の充実**

● **経済的支援**

● **子育てを支援する施設や学校の充実**

● **親の居場所**

● **情報発信**

● **企業と連携**

● **交通の不便**

● **医療の充実**

大和市の良いところ、取り組み、進んでいること

- Twitterで発信**、フォロー (積極的たいせき) 高評価でも多くある
- お祭り**の場で、DJミ、フリスビー情報、Twitterでも発信 (Twitterでも発信)

企業と連携して、親の居場所、子どもの遊び場、事業所内保育所 (地域も含) をつくる。市民がほめる (売上UP!)

● **泉の森の一部に、スレパーク**

● **引地台公園**

● **地域の皆で支える**

● **子育て情報と、伝わりにくい人に伝えるため** (外国人、若い人...)

● **身近なお祭り**を企画して (バベロ、100% (お国料理) xマズ)

● **DJミで伝える**、帰る時はみんな友達!!

■グループ7 安心して子どもが遊ぶ、育つことができるまちにするには

●議論の流れ

- ・安心して子どもが遊ぶことのできる環境があるかをみつめなおすと、公園であっても制約が多く、ボール遊びができる公園は少なく、身近な公園では遊べないということだった。子どもの豊かな遊び環境をつくることをもっと重視して、例えばボール遊びができるようなフェンスをつけていくことも考える必要があるという意見が出された。大人が子どものために対応していることも、安全を重視して遊具を撤去したり、口を出しすぎることで、子どもたちが判断したりや運動経験を積んだりする機会を奪っているという問題も指摘された。
- ・中学・高校生など若い世代が遊ぶ環境をみつめなおすと、ゲームセンターやカラオケなどの施設は大和駅周辺のような繁華街にあり、大人が気にかけていないけれど実は危険な場所が隣り合わせにあるという指摘があった。繁華街以外に健全に遊べる場所があると良いという意見や美術館などの文化施設があると良いという意見が出された。
- ・中学・高校生になると習い事や通学で行動範囲が広がるが、市内の交通手段が限られているため不便だという意見があった。バスの便が充実していないという意見のほか、自転車での移

動では自転車道が狭く危険なので改善が必要だという意見が出された。

- ・子どもの安全のために知らない人とのあいさつをしないよう指導している学校も多く、子どもと地域とのつながりが断たれているという課題が出された。子育て世帯が地域とのつながりをつくっていくことで、子どもと地域のおじさんお婆さんとのつながりもでき、子どもを見守る目が増えることで安心して地域で子育てができるようになるので、既存の行事などを活用して地域と親世代がつながる機会をつくっていくことが大切だという意見が出された。
- ・大和市では放課後子ども教室があり良い取り組みだが、運営体制が縮小されたりボランティアスタッフが少なくなったりしているので今後は心配だという意見が出された。高校生など若い世代がボランティアでアシスタントとして運営に関わると、子どもたちにとっては年の近いお兄さんお姉さんから様々なことを学ぶ機会にもなり、学生にとっては小さな子どもたちと接することで将来の子育てのイメージを持つこともでき、コミュニケーション力もつので、将来の男女交際に役立つのではないかという意見が出された。

課題（論点・個別意見） （◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
<p>1</p> <p>子どもの遊ぶ公園に制限が多い（ボールの使用はダメ）（◎1人、○3人）</p> <p>（意見の付箋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けにボール遊びのできる公園が少ない ・ボールが使用できるのは大きい公園や、遠いところにある公園に限られる→身近にない ・子どもたちの遊ぶ公園が少ない。遊びに制限が出てきている 	<p>身近な公園で、子どもがのびのび遊べる（たとえば、ボール遊びとか）フェンスつけるような、子どもの遊びを豊かにする予算をもっと優先的に考えてほしい。（シール投票数3票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びができる公園をつくる ・ボール遊び→フェンスを高くすれば遊べるようになるけれど→子どもの遊び場に関する予算の優先順位を高くしてほしい

2	<p>子どものためになってない対応が多い (○3人) (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由判断の機会が少ない ・目と口を出しすぎて、子どもの自由、判断の機会をうばっている ・親が何かあったとき、他に責任を求めすぎ <p>思いっきり運動できる機会が少ない (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊べる場所が少ない ・遊具が危ないからと撤去されている ・子どもの運動能力も低下している 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子の遊びサポートで、あこがれのお兄ちゃん、お姉ちゃんが遊んでくれると良い
3	<p>放課後子ども教室がある (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近運営体制が縮小され心配 ・ボランティアスタッフにすると対応する人が少なくなっていくのではないか ・寺子屋をやっているのが良い 	<p>放課後子ども教室に高校生ボランティアの活躍の場をつくり、小さな子どもと触れ合い、コミュニケーション力をつける機会に (シール投票数 10票)</p> <ul style="list-style-type: none"> →小さい子に接する機会にもなる (ひとりっ子は特に) →コミュニケーション力も広がる ・小さい子どもの遊びボランティア ・小さい子ども達は高校生のお兄ちゃんお姉ちゃんを見て育っている
4	<p>若い世代が健全に遊べる場所が少ない (●3人、○1人) 大人がふつうに感じる繁華街でも、子どもにとっては危険な場所もある (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生向けの遊ぶ場所が少ない ・ゲーセン、カラオケ、買い物が高校生の遊び ・居酒屋の近くにカラオケ店がある ・ピナウォークみたいな施設があると良い <p>あやしいところ、危ないところがある (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和駅周辺の怪しい店をどうにかしてほしい ・駅周辺のゲームセンターやカラオケは、雰囲気が悪く入りづらい ・知らないうちに犯罪の手伝いをさせられることもある ・小さい子どもは自分で危険な場所を判断できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人の見守りも必要? ・地元で健全に遊べる娯楽施設を誘致することで雇用になる ・美術館など、文化施設、プラネタリウム、映画館などがあると良い ・駅前に図書館が移動する
5	<p>公共交通が不便で、通学や習い事に苦勞する (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によっては、交通の手段がなく、習い事などにいくのが不便 ・市内で交通便の差が大きいのでは? ・町田はバスの便が充実して便利 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊べる場所に行きやすい交通手段があると良い
6	<p>自転車道が危険 (意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和は道が大きく、交通量の多い道が多い ・事故が起きる前の対策が必要だが、「お金がかかるので」といって対策がされない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車用通路を充実させる

7	<p>子どもと地域のつながりが、断たれている「あいさつ」もダメ（○1人）</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながり ・地域でのつながりがない ・日中、大人の目が少ない 	<p>地域と親の関係を育てることで子どもを地域で見守り、安心して外で遊べることで安心して働きに行ける環境をつくろう（シール投票数0票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過保護な親の意識を変える
8	<p>共働きだと外で子どもが遊ぶときの見守りの目が少ない</p> <p>〔意見の付箋〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まわりの大人が見てくれていると安心して働ける。 ・子どもと関わることでおじいちゃんも元気に！ 	<p>親と「地域」のつながりを意識してつくっていくために地域に子どもだけでなく親も積極的に関わる（シール投票数2票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事などに子どもだけでなく、親も参加していく ・今あるしくみや活動、施設などを活用し、つながりをつくっていく
9	<p>学校内での教育も合わせて、子どもの育ち環境を良くする必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の中、環境整備（教室にいろいろ貼ってあり、雑然としている等、問題がある） 	

●作業シート



親と「地域」のつながり意識を
つくりたい。地域に子どもだけでなく
親も積極的に参加する。

地域と親の関係を育むことで、
子どもを地域で見守る → 安心して外で遊ぶ
→ 安心して傷病に行ける

放課後子ども教室に高校生ボランティアの
活躍の場を創り、小さな子どもと
コミュニケーションがとれる機会に

身近な公園で子どもがのびのび遊べる
(例えばボウリング場) がある。子どもの
遊びが豊かになる予算をもっと優先的に考えたい

■グループ8 安心して子どもが遊ぶ、育つことができるまちにするには

●議論の流れ

- ・まず、子どもの遊びや日常生活における物理的な環境の問題として「公園でボール遊びができない」「夜間の大和駅周辺が怖い」という話題が非常に多くあがった。
- ・「公園でボール遊びができない」については、怪我の問題や公園隣接住民への配慮という観点からボール遊び禁止という状況に一定の理解を示しつつも、子どもが大好きなボール遊びを何とか「身近な公園」で実現できないかという意見が多かった。そのために、ボール遊びができる時間帯やスペースを決めるといった運用の工夫や公園隣接住民への影響を物理的に防ぐために組立式簡易フェンスを利用するというアイデアが出された。
- ・「夜間の大和駅周辺が怖い」という状況は、参加高校生の実感として共通したものであった。具体的には客引きや酔っ払いが多く夜間は怖くて駅周辺を歩けないというものである。実際に夜間に駅を通らねば行けない塾へ行けなくなったという体験も聞かれた。一方、駅前繁華街の良さを守ることも大切という意見も出された。そこで、子どもが夜間でも安心して通れるエリアやルートを地域の呼びかけや定期的なパトロール活動によって確保してはどうかというアイデアが出された。
- ・次に、遊びの機会や質といったソフト面の環

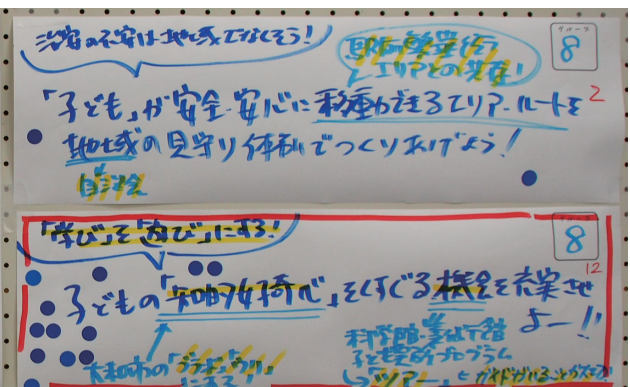
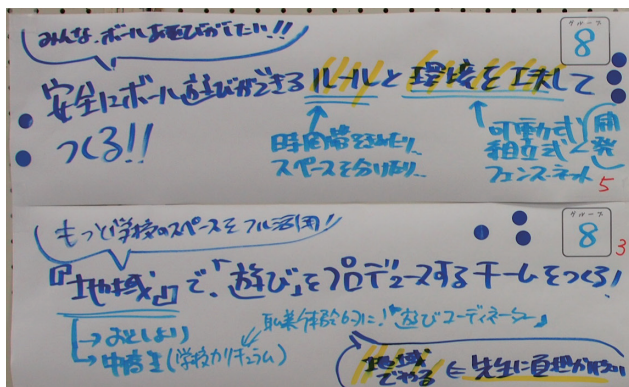
境として「外遊びに触れる機会が少ない」「知的好奇心をそそる良質な学びと遊びが必要」という話題があがった。

- ・「外遊びに触れる機会が少ない」については、何でもできる公園を身近な街なかに整備することは難しいので、学校を遊びの場として活用してはどうかという意見が出された。具体的には、地域住民のほか近隣の中高生が「遊びコーディネーター」として小さな子どもたちに遊びの機会を提供するというアイデアが出された。
- ・「知的好奇心をそそる良質な学びと遊びが必要」については、まず、参加高校生から、大きくて質の高い教養ツールを提供する図書館、美術館、博物館のような施設が「気軽に通える身近なエリア」にないという意見が「切実な課題」としてあげられた。一方、こうした施設整備は現実的ではない中で、ソフトの仕組みづくりで解決ができないかという議論になった。具体的には、子どもが「学び」ながら「遊べる」ように、科学館・美術館などのツアーガイド付き子ども向け遊びプログラムのメニュー・カタログを作り、子どもが選んで気軽に参加できるような機会や仕組みを作るといったアイデアが出された。

課題（論点・個別意見） （◎グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイデア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
<p>1</p> <p>ボール遊びなど球技ができる公園がない（◎2人、○2人） （意見の付箋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ない。あっても狭い ・特にボール使えるところ ・公園でボール遊びできない ・ボール禁止の公園が多い 	<p>みんな、ボール遊びがしたい！安全にボール遊びができる「ルール」と「環境」を工夫してつくろう（シール投票数5票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びができる時間帯を決めたり、スペースを分けたりなどのルールを整える ・例えば、ボールで遊ぶ時に手軽に使える可動式かつ組立式のフェンスネットを開発して遊べるようにする
<p>2</p> <p>子どもが楽しみながら学べる場所が身近に少ない（◎1人、○2人） （意見の付箋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館が少ない ・文化施設が少ない 	<p>「学び」を「遊び」にする！子どもの「知的好奇心」をくすぐる機会を充実させよう（シール投票数12票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びながら学べるということを大和市の「ブランド」「ウリ」にして、子育て世代にPRする ・科学館・美術館などのツアーガイド付き子ども鑑賞プログラムのメニュー・カタログを作り、子どもが選んで気軽に参加できるようにする ・学習センター、プラネタリウム、美術館、博物館など、子どもが知的な興味をふくらませることが出来る「本物」の施設に触れる機会を増やす ・子どもが楽しめるツールたくさんつくる ・美術館、工場見学などの「ワクワク、カタログ」「ワクワクツアー」をつくる ・本物、専門的なことを楽しく教えてくれる人（ガイド）を育成・募集する（実験でんじろう！みたいな人など、大和市出身の方に協力してもらう） ・期間限定美術館を学校で行う
<p>3</p> <p>子どもが自分一人で興味を持って遊べる場所がない（◎1人、○1人） （意見の付箋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけで行ける子供館みたいなところが少ない ・やなぎっこ・子どもひろば・コミュセン、スポセンなどがあるが、皆知らないのではないかと。また、一人で初めて行くにはハードルが高い。高学年は追い出され気味である。 ・子どもは、公園で成人の人たちが遊んでいると遠慮してしまう 	<p>もっと学校のスペースをフル活用！「地域」で「遊び」をプロデュースするチームをつくろう（シール投票数3票）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を「遊び場」としてもっと活用したい。学校の先生に負担をかけないことが成功の一番のポイント ・地域の自治会、お年寄り、中高生が「遊びコーディネーター」となって子どもたちに遊びを教えるとよい ・中高生の参加は、「遊びコーディネーター」を職業体験として行う学校カリキュラムにするとよい

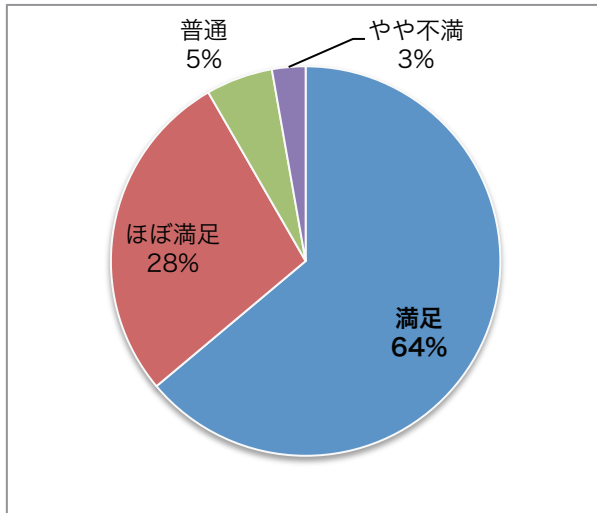
4	<p>不審者情報が比較的多く、すごい不安感がある (●1人○1人)</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者が多い ・自治会単位でパトロール(市からの要請で) 	<p>治安の不安は地域でなくそう!「子ども」が安全安心に移動ができるエリア・ルートを、地域の見守り体制で作らばいい(シール投票数2票)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前繁華街の賑わいと子どもが安心して駅前にいける環境作りを共存させる考え方が必要である ・自治会が音頭をとって、夜間に子どもが通るルートをパトロールする ・大人のためのエリア・ルート、子どものためのエリア・ルートと明確に分ける方法もある ・大和PSメールの登録対象を中学生の親まで広げる ・お掃除隊を作ってまちをきれいにすると治安もよくなる
	<p>繁華街(特に大和駅)の夜が怖くて、子どもの外出が限られる(○2人)</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和駅が汚くて、治安が悪い ・子どもが遊べないのはもちろんのこと、塾にも行きづらい ・実際に駅を夜に通る必要があるのに、親に止められて塾に行けなくなった ・ちよのみフェスタの時は柄が悪い人が多くて、子どもにとっては怖くて歩けない 	
5	<p>地域で子どもを見守る状況がなくなっている(○2人)</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の目線、子どもに温かくない ・保育園の騒音問題が代表的 ・校長先生が運動会前に騒音苦情対策で近隣を回る 	
6	<p>いろいろな遊びができる場所が少ない</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども等と遊ぶ人たち、施設あまりない ・遊ぶところがあっても、遊ぶことが限られる(ポール遊び禁止) 	
7	<p>騒音がうるさくて、遊びに集中できない</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音でゆっくりできない。つまり遊ぶことに集中できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音には慣れている人も多い ・まちが魅力的で、騒音が気にならないようなまちづくりができるとよい ・英語リスニング試験の時にすごい騒音だった。せめて、騒音がする時間帯を事前に把握して催し等を調整できるとよい
8	<p>道路の交通安全対策がもっと必要である</p> <p>(意見の付箋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭い(子どもの自転車) 	

●作業シート



3. 参加者アンケートのまとめ

Q.本日の市民討議会はいかがでしたか？（満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満）



満足	23
ほぼ満足	10
普通	2
やや不満	1
不満	0
計	36

●具体的な回答（抜粋）

○高校生など、普段は接点のない様々な世代と議論することができて良かった

- ・ 様々な世代（特に高校生）との接点、議論を交わすことができ、有意義な時間を過ごすことができた。
- ・ 普段話をする機会の少ない方々とふれあい対話すること、意見を聞くことができて、とても楽しい有意義な時間ができた。ありがとうございました。
- ・ 普段関わることができない世代や年代の方と意見交換ができて、とても楽しく、ためになりました。ありがとうございました。
- ・ いろいろな世代の方々とお話できた。
- ・ いろいろな世代の声が聞けたから。

○普段から考えている自分の意見を直接人に伝えることができた

- ・ 普段思っていることを話すことができた。
- ・ 直接声を届けられる機会があったのが良かったです。
- ・ 自分の意見をしっかり言えた。

○高校生の柔軟な意見を聞くことができて良かった

○自由な意見交換ができて良かった

- ・ 自由に自分の意見を言えて良かったと思います。
- ・ 色々な人の意見も聞けて、自分も意見を言えて、とても参考になりました。あらためて、大和市にいる以上、自分たちも意識して活性化につとめていきたいです。

- ・ いろいろな意見が出てびっくり。
- ・ グループで話し合いができたので、さまざまな意見を聞いてよかったです。
- ・ 色々な人の色々な意見が聞けて、楽しかった。
- ・ 他の方のいろいろな意見を知ることができた。

○大和市について、充実した積極的な話し合いができて新鮮だった

- ・ 他の参加者の人がしっかりとした意見をもっており、充実した話し合いができて良かった。
- ・ 思っていたより皆さんから様々な意見が伺えたこと。
- ・ 積極的な議論が出来て有意義だった。
- ・ 自分の考えについて色んな人と発展させたり、人の意見に耳を傾けたり、とても新鮮でおもしろかったです。
- ・ 良い話し合いができました。
- ・ 普段大和市に対して思っていることを話したり、住んでいる人と意見交換をしたりしてとてもおもしろかったです。

○普段は聞けないような話を聞くことができた

○同じようなことを考えている人がたくさんいた

○色々な意見を聞いて、視野が広がった

- ・ 色々な意見が聞けて視野が広がった。
- ・ 他の方の意見を聞いて、見聞を広げられた。

○今まで考えなかったようなことを考えられた

○様々な考え方や生き方を知って、自分の住む町を見つめ直すことができた

- ・ 自分の知らない世界の話を聞いた。
- ・ 色々な生き方や考え方を知り、自分の住む町をみつめなおすことができたため。

○ファシリテーターのおかげで気楽に話し合うことができて良かった

- ・ 進行役の人がリードしてくれてよかった。
- ・ ファシリテーターの方々のおかげで、楽しく気楽に話し合うことができてよかった。
- ・ 進行役をつとめてくれる企業に協力していただいたのは良いですね。プレママ教室などでもそうしてほしいものです。

○和気あいあいと気楽に参加することができた

○自分の意見が認められたり、尊重されたりしていて嬉しかった

- ・ 自分の意見が認められるのは、嬉しいことだと思いました。
- ・ 私の意見もきちんと尊重されていたような気がするからです。

- 良い経験になった
- 自分の活動への刺激になった
- 素晴らしい充実したプログラムだった
- 大和市や他地域の情報が分かった
- 滅多にない貴重な機会に参加できて良かった
- 議論を通して、大和市をより良くできると実感した
- 市民同士で話し合っ、もっと大和市のことを考えようと思った
- 学校でもやりたい
- 今回出た意見が反映されると良い
- すぐに実現できそうな案が少なかった

○長かった

- ・ 長い。8：30～13：00位にしないと、参加者も多くならないのではないのでしょうか。よっぽど時間に余裕ある人か、意見を言いたい人しか集まらないと思います。例えば、午前の部、午後の部、両方出たい方など選択肢が欲しかったです。

○午後に話し合うテーマも自分で選びたかった

- ・ 午後の話し合うグループは、テーマを選ばせて頂きたかったです。その上で人数調整して欲しかったです。
- ・ 後半の自由討論のテーマの選択も参加者に任せたらもっと良い。

○午前の時間が短かった

○1グループの人数を減らした方が良いのではないか

Q.市民討議会での他のグループの発表をふまえ、追加したいアイデアや話し足りないことがございましたらお書きください。(抜粋)

●「出会い」に関すること

- ・ インターネットの活用について、もっと掘り下げられると思った。
- ・ 学校間交流。
- ・ 駅広場のクリスマスイルミネーションに予算を出してください。商工会の古い人たちに任せるのではなくオシャレに！今年の12月、期待しています。
- ・ 街コンを頻繁に開催する。

- ・ 幸せ像を見せて、独身者をあせらせるのが面白かった。
- ・ やはり同じ趣味だと盛り上がるので、スポーツクラブや Music etc の教室などとも連携してはどうでしょうか。
- ・ 30代になると出会いがないので、また機会があれば行きたいです。
- ・ 「ボランティア」と出たが、中高生ボランティアを使って欲しい。(私が団体を運営しているため)
- ・ 大和市内高校合同文化祭の実現など、やったら面白いと思いました。
- ・ シェアハウスおもしろい！
- ・ 出会いの場を設けても参加しづらい件について、段階を踏んで進めるアイデアをもう少し具体化したかったです。

● 「仕事」に関すること

- ・ 働くお母さんの連携をサポートする仕組みについて。
- ・ 離職した母親への復帰サポート。
- ・ 工場等通勤に、是非本日出たコミバスの目的別運行を実現してください。
- ・ 企業誘致 (あまりない?)。
- ・ FUTABA 実現するといいなあ。
- ・ 「ふたば」 by Yamamoto プロデュースはぜひ実現させて欲しいです。育児のすき間時間に仕事したい方々がとても多くいました。
- ・ 地域で助け合いができる、仕事がしたいです。
- ・ 私もここだったが、女性だけでなく、男性でも出せるアイデアで良かった。放課後ひろばはぜひやってほしい。
- ・ 企業との連携強化
- ・ 託児所でのボランティアは、やってみたいです。
- ・ 保育と仕事の両立が出来るよう、高校生だけでなく地域が問題視していく必要があると思います。

● 「子育て」に関すること

- ・ 放課後ひろばが週3回とは知りませんでした。(5日にするべきです)
- ・ 働くお母さんが、2人目以降保育園に入れるかと不安なく子どもを産めるような体制作りをしてほしい。特にフルタイムではない人は難しいことが多い…。
- ・ 公民館を市の図書館の延長にして、図書を置いておく。
- ・ 公民館において、宿題をする場を近所の子どもに提供する。
- ・ 子育て情報の提供について。
- ・ 保育園にもっと入れるようにしてもらいたい
- ・ 母子手帳の早期配布
- ・ 「第3子の保育料無償化」制度での第1子と第3子の年齢制限(第1子が小3まで)というのはおかしい!年齢に関係なく無償化すべき。
- ・ 情報発信次第。

- ・ 学生ボランティア、校庭開放おもしろいと思いました。
- ・ 学生やお年寄りの皆様の活用機会をもっと増やすと良いと思います。
- ・ 仕事をしながら子育てができる制度にくわしく話し合いがしたかったです。
- ・ 病児保育の充実、土日や遅い時間の保育など、働きながら子育てできるしくみをもっともっと充実させてください。あと、世帯収入の高い世帯の保育料が高いのもやめてください。高い税金は払いますから。「保育」に関すること（医療費等）、全て無料にでもしない限り、合計特殊出生率、上がらないと思います。
- ・ 子育てや働くお母さま向けの市のホームページ作成→「大和市」で検索すると出てくる→優しい町としてのイメージつくれる。
- ・ 外国人の方とたくさん話し、仲良くなり、英語も上手くなるし、相手も安心するから良いと思います。
- ・ 私たちだけの意見ではなく、よりママさんの本音を取り入れていく。高校生や学生だけでなく高齢者も積極的に参加する。

●「意識啓発」に関すること

- ・ PR方法を工夫することについて。
- ・ 安心して、遊べる、育つ。見回り。
- ・ 人口減少や町の活性化は政策だけでできるものではないので、もっと市民全体で参加、盛り上げていけるような機会を作って欲しいです。
- ・ 少子化、男性の育児、人口減など、「考える意識」を持てるような機会を教育の場で設けるべきと思います。公教育で、社会的な問題について、知る、考える機会を増やすべきだと思います。
- ・ 「子供を地域で見守るにはどうすれば良いのか」は追加議論をしたい。
- ・ ボランティア募集があれば、良いと思う。
- ・ 放送を利用したアイデアはとても良いです。ただもう少し放送自体を聞きやすくする必要があるとあります。

●その他

- ・ 花火のできる公園ありますか？マンションの前でしていたら、消防を呼ぶと、怒鳴られました。
- ・ 市立病院の夜間診療で、1日分より多く薬が欲しい。結局、翌日辛い中、一般診療に行くことになる。
- ・ 市として、交通の便の充実に力を入れて欲しい。動き易くなることで、仕事、生活、子育てがしやすくなり、長い目で見た時に、市や場所としての魅力につながると思います。
- ・ 「ボランティア」の活用という言葉がよく出てきましたが、責任 etc の問題で限界があります。携わる人にお金が支払われるシステムにして欲しい。
- ・ 婚姻中の女性が産む子どもの数を1人→2人→3人→4人と増やす為のサービス拡大についてもっと話し合いたかった。
- ・ 引地台公園近くのアスレチックの場所を有効活用（傾斜を利用した滑り台やソリなど）。
- ・ 祭や催し物に、市の職員の方がもっと積極的に顔を出してくれると嬉しい。
- ・ 大和市が住みたくなる、子育てしたくなるまちであることをもっと全国にPRして欲しい。（大和市

のブランド強化)

- ・ ゴミの収集、もう少し日にち増やしてください。資源ゴミ第5週にしてください。近くの市と比較した時、大和住みたくない…となります。
- ・ 自転車用通路の充実をはかり、子供の安全を守る。
- ・ 大和市民討議会をやるのが、人口減少対策につながるのではないかと思います。

Q.今回が3回目となるやまと市民討議会でしたが、このような取り組みへのご意見や、より参加しやすくなるための工夫・アイデアなどお気づきの点がございましたらお書きください。(抜粋)

○たくさん話し、聞くことができ楽しく、良い経験になった

- ・ とても楽しく皆さんとお話できました。良い経験になりました。
- ・ 初めてこのような場に参加させていただきましたが、たくさん話すことも、聞くこともできて、楽しい時間でした。

○積極的に参加出来る仕掛けがあって良かった

○スタッフが明るくて楽しかった

○ポストイットを使用することで、もれなく意見が出されるなど、良い進行だった

○このような取組がもっと増えると良い

○行政が思いつかないような案が出るので、このような場を続けてほしい

- ・ この様な場を続けて欲しい。行政の方では、思いつかないものが市民(現場感覚)で出ていたと思う。
- ・ 大変良いと思います。今後も是非続けて行ってほしいと思いました。

○またこのような会があれば参加したい

- ・ 次も参加したい。
- ・ またこのような会議があったら参加したいです。
- ・ 今回は、少子高齢化や人口減少についての討議会でしたが、また機会があったら出たいです。
- ・ 来年、また来たいと思えました。楽しく、良い会でした。

○「討議会」ではなく、もっと気軽に参加出来るようなネーミングだと良い

○討議会のことをもっとインターネットで発信する、参加案内に実施風景の写真を掲載するなどして、もっとたくさんの人に参加して欲しい

- ・ とても良い経験になると思います。このような取組みをしていることをもっと発信してほしいです。
- ・ とてもおもしろかったので、もっとたくさんの人に参加してほしいと思う。
- ・ 議論している内容や風景をインターネットにのせるといいと思います。年齢をとわず、参加できるこ

とを教える？

- ・ みんな知らないから、もっと呼びかけるべき。
- ・ 参加の案内に、昨年の実施風景などがついていれば、参加者がもっと増えると思います。

- 同じメンバーで定期的開催するなど、継続的なプロジェクトにして欲しい
- 討議会のメンバーをランダムに選ぶと良いのではないか
- 発想がフレッシュな高校生の参加があり、大変良かった
- 社会人男性の参加が少なかった
- アイディアを出すときだけでなく、実行する時にも市民参加の話し合いがあると良いのではないか
- 今回出た意見を是非取り入れ、その取組状況なども教えて欲しい
- 討議会に参加できない人の意見も汲み取って欲しい
- 学生のみでの討議会を開催したり、市議会に学生を1人入れるなどすると良いのではないか
- 拘束時間が長いので、午前、午後どちらかで完結できる内容でも良いのではないか
 - ・ 拘束時間が長いので、例えば AM、PM だけで完結できる内容でも良いのではないか。
 - ・ 少し長い気がしました。
- 謝礼があるより昼食が出る方が、参加者同士が仲良くなれ、午後の討議がより活発になるのではないか
 - ・ 謝礼を出すより、昼食は参加者で折弁当を一緒に食べたほうが良さそうな気がします。午後の討論がより話しやすくなります。
 - ・ せめてお弁当を出して欲しい。そしたら食べながらもっとコミュニケーションが取れるのに。
- 昼食を出して欲しい
 - ・ 高校生の場合、親がお弁当を作ってくれるので、昼食がでると素敵です。
- お昼ご飯の時間が寂しかった
- 売店が閉まっていた不便だった
 - ・ 売店が閉まっていた、不便でした。(子供を連れてきたので)
- 謝礼が安すぎる
 - ・ まるまる1日拘束されて2500円は安すぎる。一般人の声をもっと取り入れたいならもう少し謝礼UPを！せめてお弁当を出して欲しい。

○テーマがもう少し少なくてもよい

○午前中の意見交換の時間がもう少し欲しかった

- ・ 午前中の意見交換の時間がもう少し欲しかったかもしれません。ありがとうございました。
- ・ もっと午前話し合いたい。素晴らしい場をくださり、ありがとうございました。

○午後も、自分で好きなテーマを選びたかった

○リサイクルや性的マイノリティへのサポートなど、他の分野でも討議会を開いて欲しい

- ・ 市民の声を拾う良い試みと思います。リサイクルなど他の分野でもやってほしいです。
- ・ それらに関連して、性的少数者へのサポートについても気になりました。

○高校生が政治や選挙について考える場をつくって欲しい

○もっと市外の人に参加してもらおうとよいアイデアが生まれるのではないか

○発表時にパワーポイントなどを使うと良いのではないか

(アンケート調査票)

やまと市民討議会

平成28年10月2日(日)

参加者アンケート

- 本日の市民討議会はいかがでしたか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

満足 ほぼ満足 普通 やや不満 不満

- その理由をお書きください。

--

- 市民討議会での他のグループの発表をふまえ、追加したいアイデアや話し足りないことがございましたらお書きください。

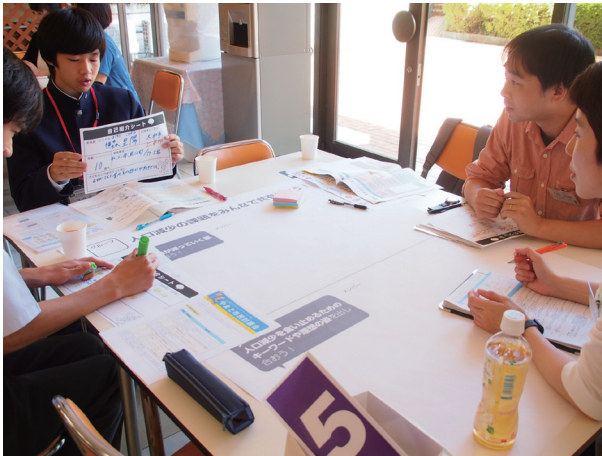
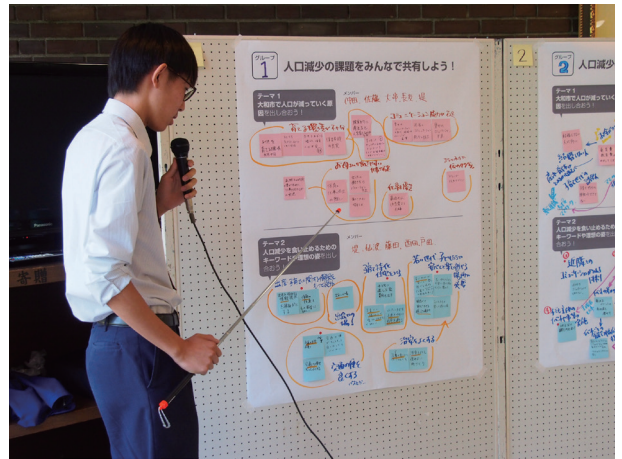
「出会い」に関する こと	
「仕事」に関する こと	
「子育て」に関する こと	
「意識啓発」に関する こと	
その他	

- 今回が4年目となるやまと市民討議会でしたが、このような取り組みへのご意見や、より参加しやすくなるための工夫・アイデアなどお気づきの点がございましたらお書きください。

--

ご協力ありがとうございました！

4. 市民討議会の写真





5. 大和市の人口を取り巻く環境 [参考資料]

市民討議会の参加者の方には、市の人口を取り巻く環境や取り組みについて情報を事前資料として提供したうえで、討議会にご参加いただきました。

1. 大和市における人口推移と今後の推計

(1) 総人口の推移と今後の推計

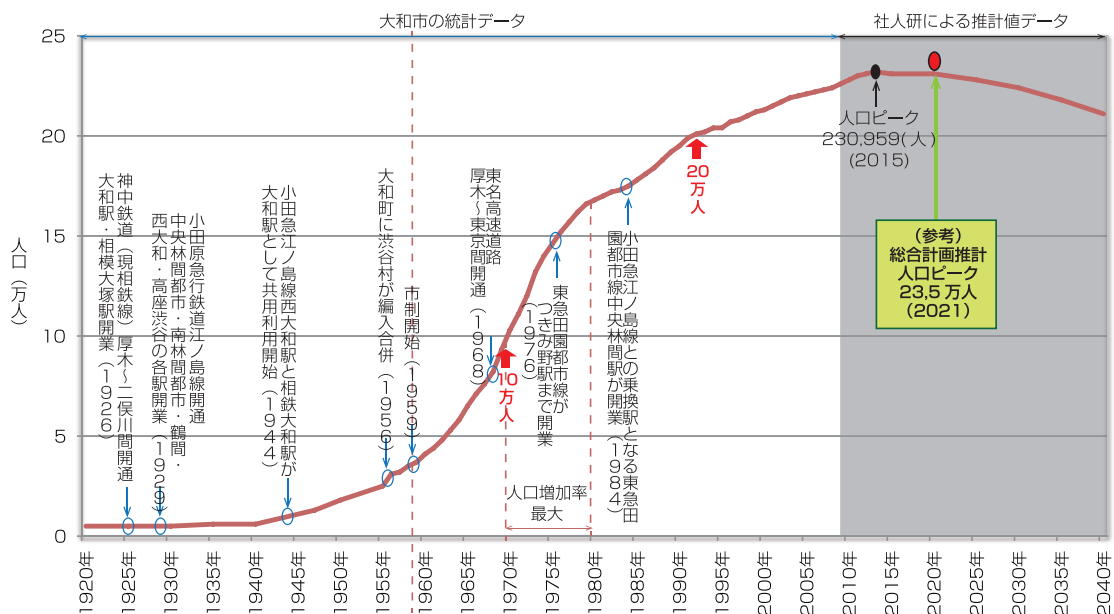
[図表 1] は、1920 年から 2010 年までの大和市の人口推移と、2013 年に国立社会保障・人口問題研究所（以降、社人研という）が発表した 2010 年以降の推計です。

本市の人口は、市制開始前から増加を続けており、市制開始の 1959 年には約 3 万 6 千人でした。その後、1970 年には 10 万人を、1992 年には 20 万人を超え、2016 年 9 月現在、約 23 万 4 千人となっています。

社人研の推計では、大和市の人口は 2015 年が最大となり、その後は、緩やかに減少が続いていくものとされています。※

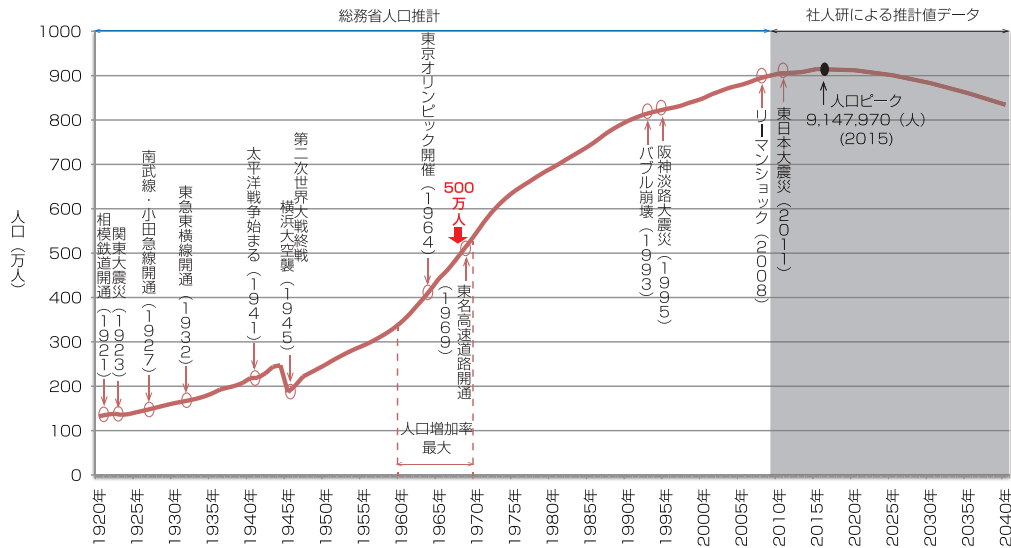
※なお、2010 年に市が策定した第 8 次大和市総合計画の推計では、本市の人口は 2021 年まで増加が続くものと見込んでいます。

[図表 1] 大和市における人口推移及び今後の推計



(出典：大和市統計及び、社人研推計のデータをもとに作成)

〔図表 2〕 神奈川県人口推移及び今後の推計（参考）



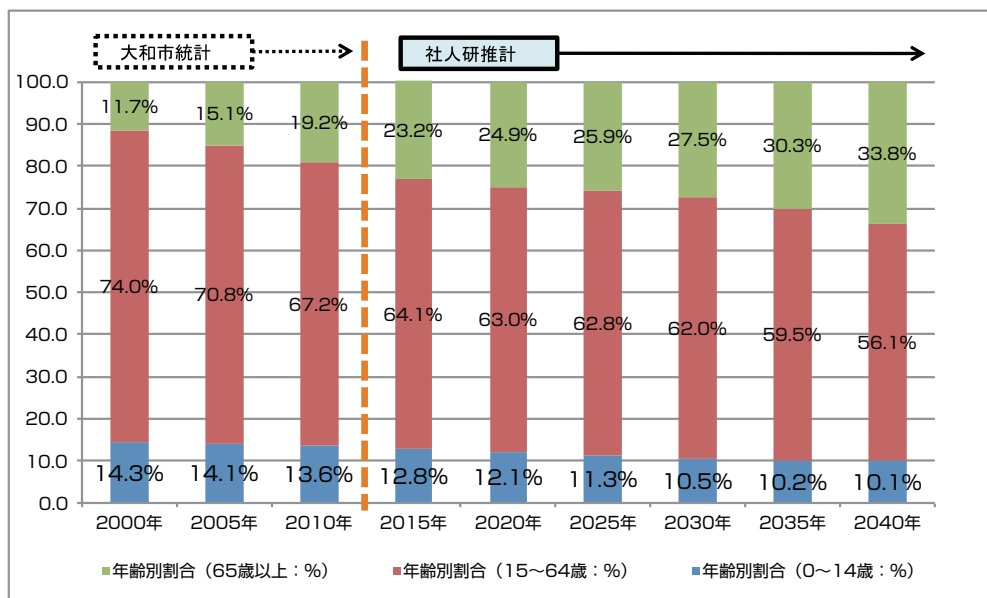
(出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成)

(2) 年齢3区分人口割合の推移と今後の推計

「年齢3区分人口割合」とは、大和市の人口を、年少人口（0歳～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分に分け、その比率を表したものです。

大和市の年齢3区分の人口割合をみると、2005年に老年人口と年少人口割合が逆転しており、以降も老年人口割合の増加が続くものと推計されています。

〔図表 3〕 年齢3区分人口割合の推移と推計



(出典：大和市統計、社人研推計をもとに作成)

2. 人口の増減の考え方

人口は、「自然増減」と「社会増減」によって増減します。

(1) 自然増減

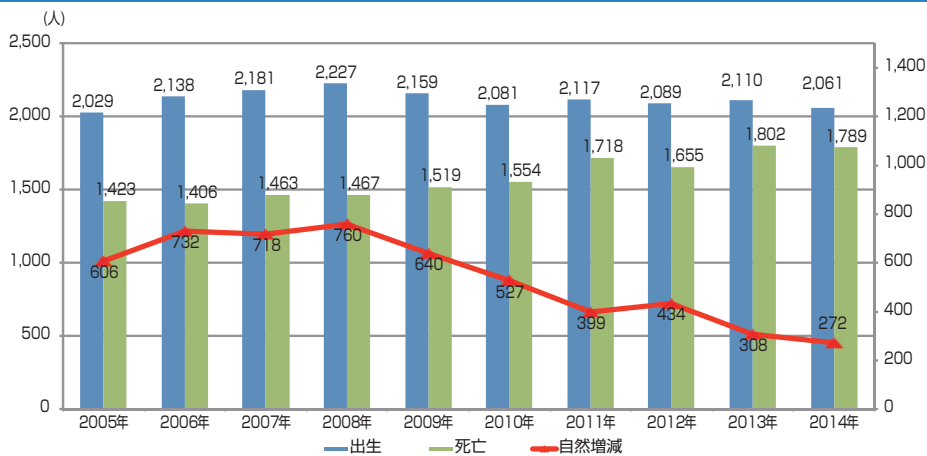
自然増減とは、出生数と死亡数の差のことです。出生数が死亡数を上回って
いけば、自然増、逆に、出生数が死亡数を下回っていけば、自然減となります。

自然増	=	出生数	>	死亡数
自然減	=	出生数	<	死亡数

[図表4]は大和市における自然増減の推移を示しています。出生数がほぼ横ばいで推移している一方、死亡者数が徐々に増えており、このままのペースで推移すると、近い将来、自然減に転じるものと推測されています。

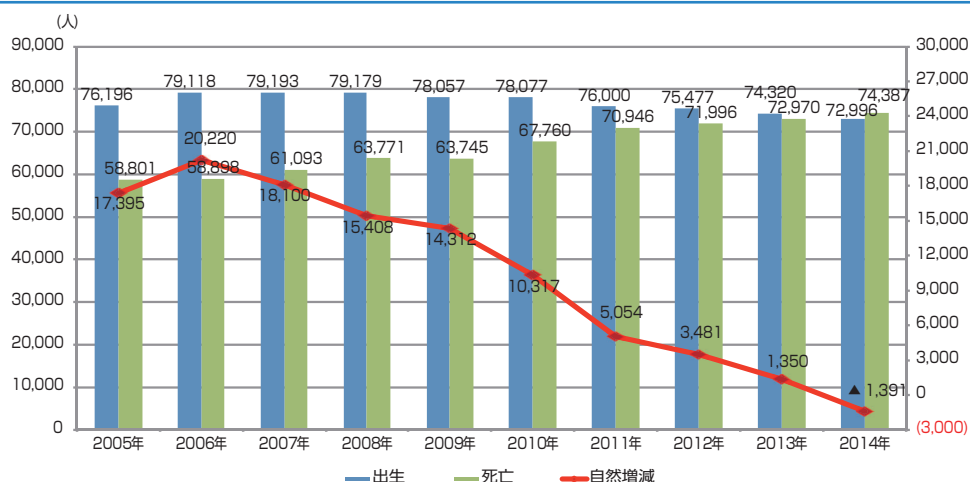
また、神奈川県においては、2014年に自然減に転じました [図表5]。

[図表4] 大和市の自然増減の推移



(出典：神奈川県衛生統計年報をもとに作成)

[図表5] 県全体の自然増減の推移



(出典：神奈川県衛生統計年報をもとに作成)

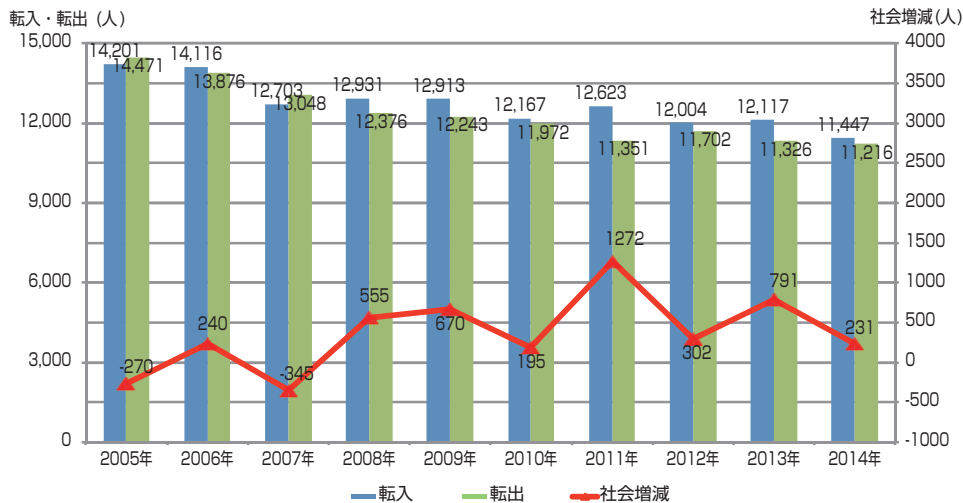
(2) 社会増減

社会増減とは、大和市内への転入者数と市外への転出者数の差のことです。転入数が転出数を上回っていれば社会増、逆に、転入数が転出数を下回ってれば社会減になります。

社会増	=	転入者数	>	転出者数
社会減	=	転入者数	<	転出者数

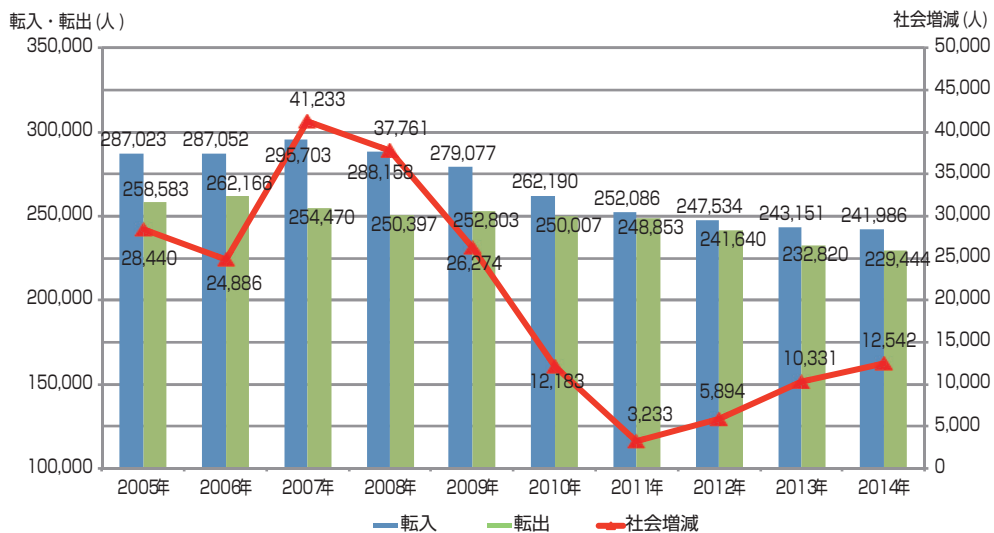
[図表6]は大和市、[図表7]は神奈川県における社会増減の推移を示しています。年度毎に増減の幅が異なるものの、ここ数年は社会増が続いています。しかし、大和市・神奈川県ともに転入者数、転出者数は減少傾向にあります。

[図表6] 大和市の社会増減の推移



(出典：大和市統計概要をもとに作成)

[図表7] 神奈川県の社会増減の推移

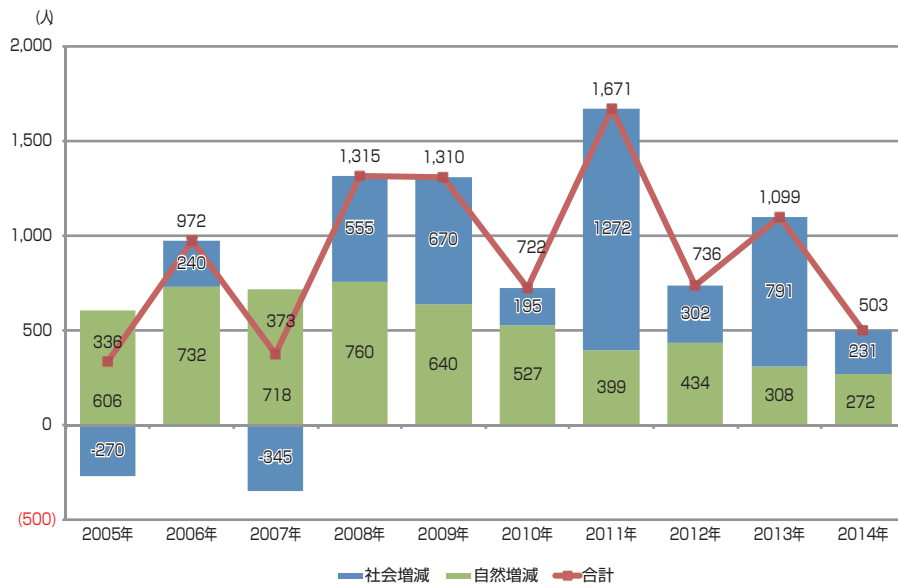


(出典：神奈川県人口統計調査をもとに作成)

(3) 人口の増減

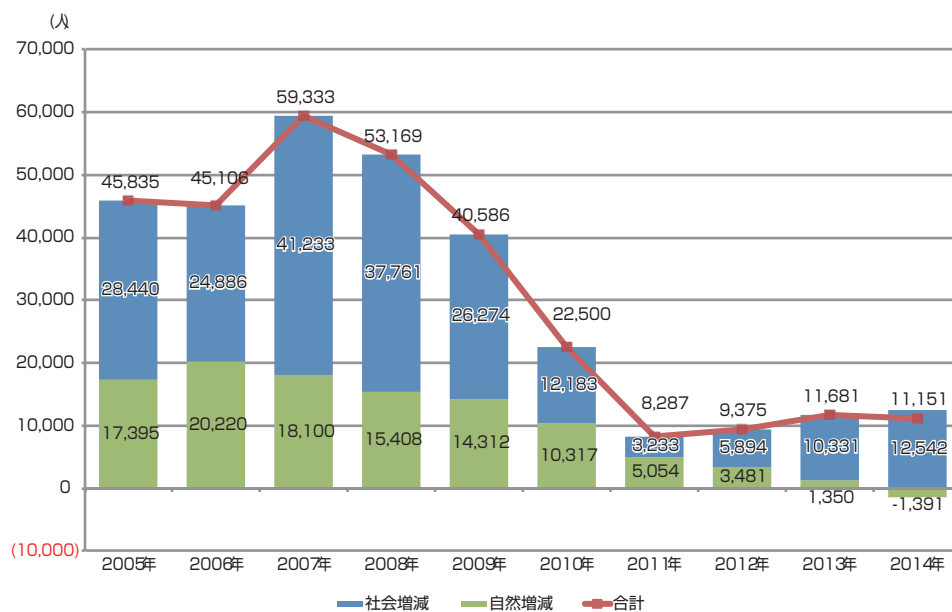
[図表8]は大和市、[図表9]は神奈川県について、自然増減と社会増減を合算し、人口の増減を表したものです。

[図表8] 大和市の人口の増減の推移



(出典：神奈川県衛生統計年報をもとに作成)

[図表9] 神奈川県の人口の増減の推移



(出典：神奈川県衛生統計年報をもとに作成)

3. 人口減少と関連するデータ

前述したとおり、人口の増減の要因には、自然増減と社会増減があります。自然増とするために、結婚・出産・子育てについての政策などを充実させることが必要であり、また、社会増とするためには都市機能を高めるなど、魅力的なまちづくりをしていくことが重要であると考えられます。

このうち、社会増減については、地域間での人口の奪い合いになるため、我が国全体を考えると、自然増を増やすことが必要です。

以上のことから、ここからは自然増減に着目したデータを紹介していきます。

(1) 合計特殊出生率

「合計特殊出生率」とは、一人の女性が一生のうちに産むと推定される子どもの平均数を表すものです。この数値によって、異なる人口の地域間における出生率の比較を行なうことができます。

また、一般的には、現在の死亡水準で考えた場合、この数値が「2.07」※になると、人口が長期的に増えも減りもせず一定となるとされています。

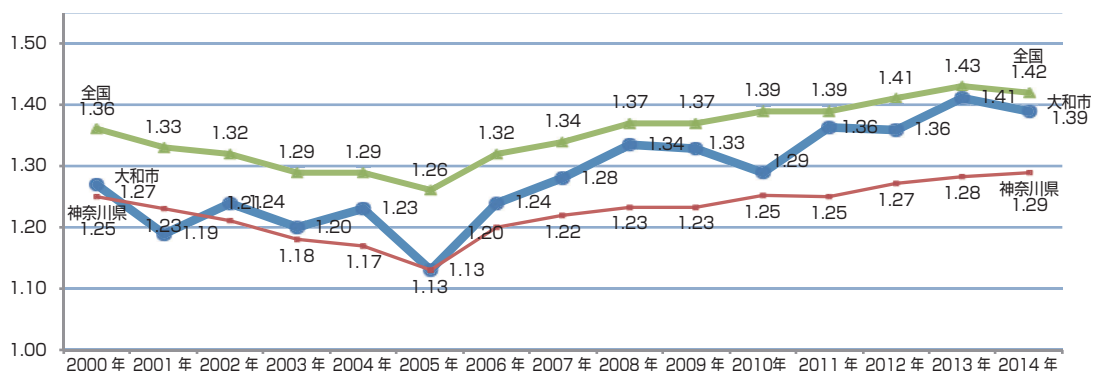
※合計特殊出生率 2.07 とは、一人の女性が一生のうちに約二人の子どもを産むということ。

[図表 10] は、大和市、神奈川県、全国の合計特殊出生率の推移を示しています。

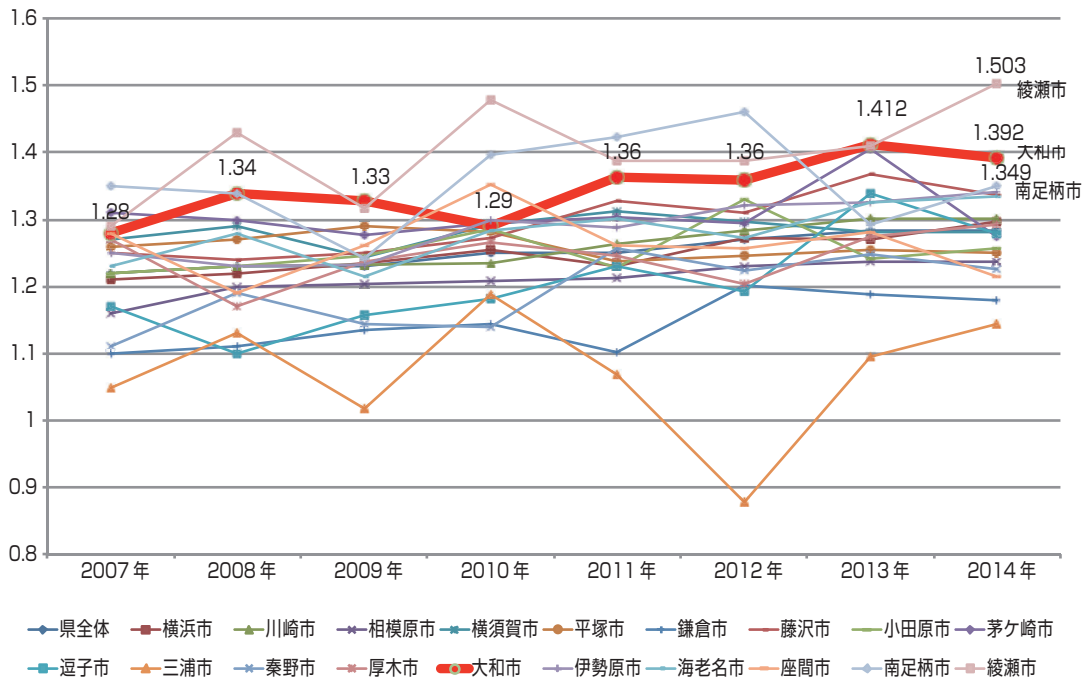
本市においては、2005 年に「1.13」まで低下しましたが、その後上昇し、2013 年には「1.41」、2014 年も「1.39」と、全国の出生率に近づいています。また、[図表 11] のとおり、県内 19 市のなかでも上位に位置しています。

一方で、人口が減少しないといわれている「2.07」には及ばない状況です。

[図表 10] 大和市・神奈川県・全国の合計特殊出生率の推移



【図表 11】 神奈川県内 19 市の合計特殊出生率の推移

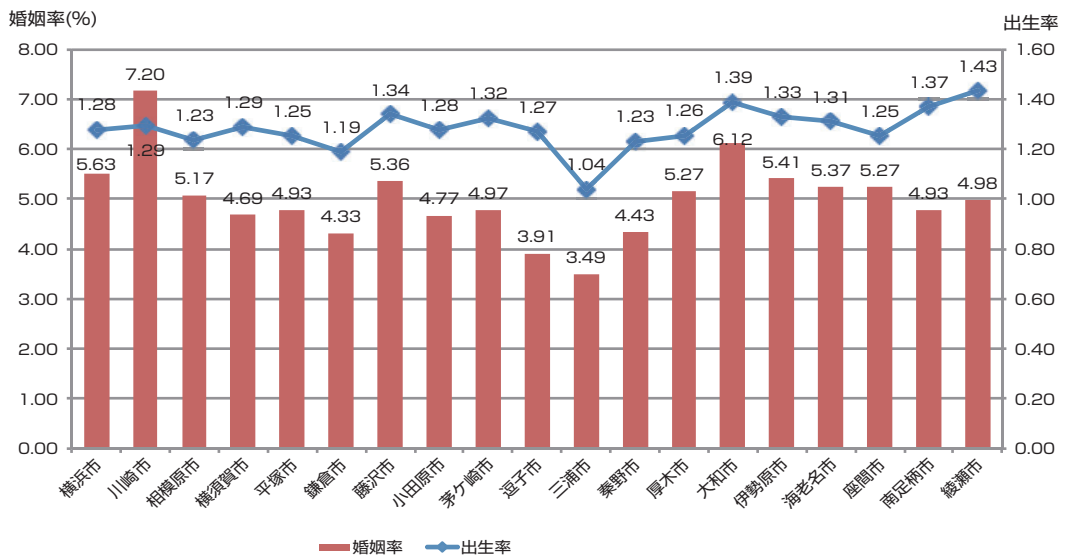


(出典：神奈川県衛生統計年報 神奈川県 HP データをもとに作成)

(2) 合計特殊出生率と婚姻率

【図表 12】は、県内 19 市における合計特殊出生率と人口千人当たりの婚姻率（2012～2014 年の平均）を示しています。この図表から、婚姻率と出生率の高さには一定の相関がみられるものと捉えられます。

【図表 12】 神奈川県内 19 市における合計特殊出生率及び、婚姻率の比較

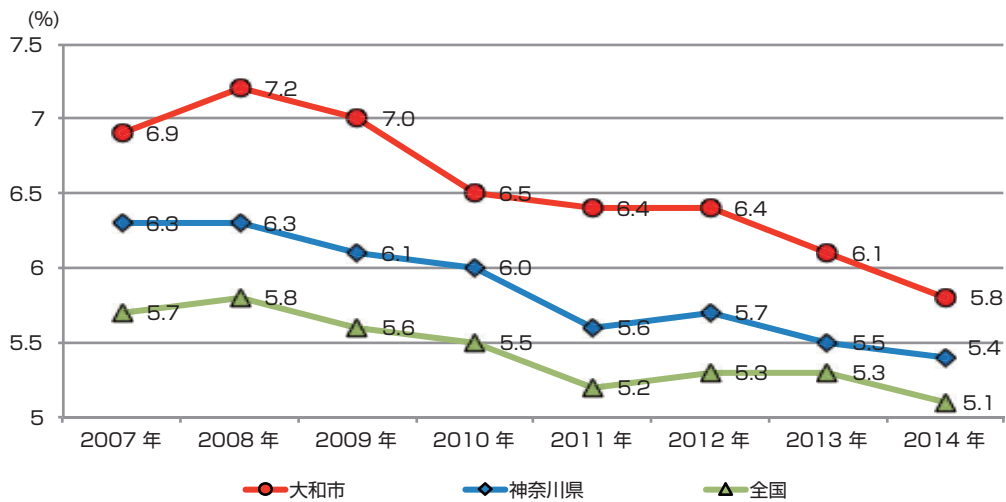


(出典：神奈川県衛生統計年報 神奈川県 HP データをもとに作成)

(3) 婚姻数と婚姻率の推移

[図表13]は、大和市、神奈川県、全国における婚姻率の推移です。大和市の婚姻率は、全国平均に対して上回っているものの、年々、減少傾向にあります。

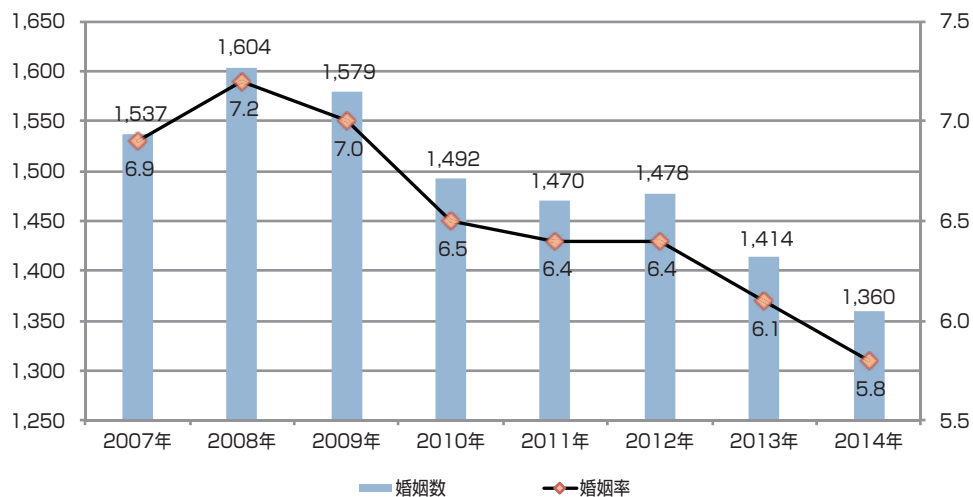
[図表13] 大和市、神奈川県、全国における婚姻率の推移



(出典：神奈川県衛生統計年報 神奈川県HPデータをもとに作成)

また、[図表14]は、大和市のみに着目した婚姻数と婚姻率を示しています。婚姻数はここ数年減少傾向にあり、2014年には1,300人台まで減少しました。

[図表14] 大和市における婚姻率と婚姻件数の推移



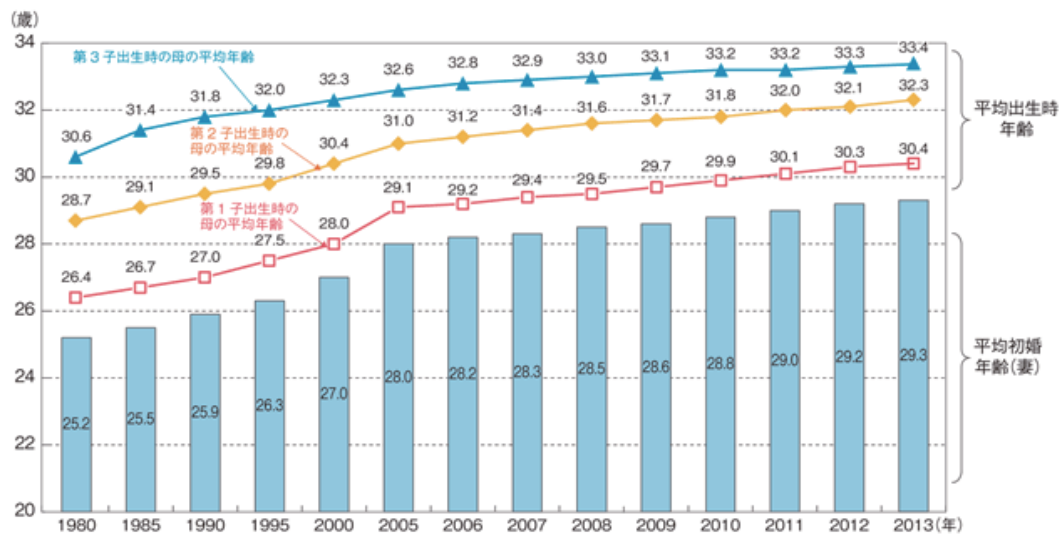
(出典：神奈川県衛生統計年報 神奈川県HPデータをもとに作成)

(4) 平均初婚年齢と出生時の母親の平均年齢の年次推移

[図表15]は、全国の平均初婚年齢と出生時の母親の平均年齢の推移を示したものです。

1980年と比べて、平均初婚年齢は4.1歳、第1子出生時の平均出生時年齢も4.0歳上昇しており、晩婚化、晩産化が進んでいると捉えられます。

[図表15] 全国における平均初婚年齢と平均出産年齢の推移



(出典：厚生労働省「人口動態統計」より)

4. 人口減少等による影響は

人口減少により、大和市にとって、具体的にどのような影響が出るのか、数値などで示すことは困難です。

国の経済財政諮問会議の下に設置された「選択する未来」委員会では、『現状が続けば、人口減少と高齢化が進み、日本経済は縮小し、国力も低下していく可能性が高い』としており、具体的には、労働人口の減少による経済規模の縮小や、社会保障給付費の増加傾向による財政破綻などをあげ、日常生活への影響は、少なからず出てくるものと考えられます。

<参考>

平成27年度に開催した「やまと市民討議会」では、「人口減少を食い止めるためのアイデア」「大和市に住みたいと思う人を増やすにはどのようなことが必要か」の2つのテーマで討論を行ないました。

その際に資料として紹介した、大和市の子育て支援施策をP.12以降に掲載します。

大和市 年齢ステージ別子育て

＜本市が行っている子育て支援事業を年齢・分野別にまとめました＞

	妊娠・出産期	乳児期 (0～1歳)	保育園・幼稚園期 (2～5歳)
乳幼児健診・各種教室等	<p>す 妊婦健診・妊婦歯科健診</p> <p>妊婦中の健康管理を促すための健診・歯科健診を無料で受診できます</p>	<p>す 赤ちゃん訪問 (乳児家庭全戸訪問)</p> <p>育児の支援や情報提供のため、概ね生後4ヶ月までの子育て家庭を全て訪問します</p>	<p>す 2歳児歯科相談</p> <p>歯科健診や歯磨き指導等</p>
	<p>す プレママ・パパ教室</p> <p>第1子目のママ・パパを対象とした、妊娠・出産・育児に関する基本講座</p>	<p>す 乳幼児健診</p> <p>月齢に応じた発育・発達を確認します。(4ヶ月・8ヶ月・1歳6ヶ月・3歳6ヶ月)</p> <p>す もぐもぐ教室 (離乳食教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1歳児育児食教室 ○ おべんとう教室 (月齢に応じ食事等に関する講座) <p>す おやこ教室</p> <p>発達面に心配のある親子を支援する教室</p> <p>す 低体重児育児支援</p> <p>低出生体重児童と保護者を対象とした健康管理・育児支援</p> <p>健 親子 de 健診</p> <p>1歳6か月児歯科健診の際に、ご両親を対象に無料で血液検査を実施しています</p>	<p>す 自閉症療育講座</p> <p>自閉症・発達障がいへの理</p>
子育て相談・支援等		<p>ほ 保育コンシェルジュ</p> <p>保育を希望する保護者の相談応じ、子育てニーズの把握と保育情報を提供します</p> <p>こ ひとり親家庭の相談</p> <p>母子・父子自立支援員によるひとり親家庭等にかかわる相談</p>	
	<p>す 家庭児童相談</p> <p>家庭相談員による子育てに関する悩み相談</p>		
	<p>す 育児相談</p> <p>保健師・栄養士による乳幼児の健康相談</p>		
		<p>す 子どもの発達相談</p> <p>専門職員による発達に関する悩み相談</p>	

支援サービス情報一覧表

▶ 小学生期 (6 ~ 12 歳)	▶ 中学生期 (13 ~ 15 歳)						
<p>解と対応などを学ぶ講座</p>							
<p>相 青少年相談 主に学齢時期の子育て青少年に関する相談 (30 歳まで相談可)</p> <p><事業担当課・問い合わせ先></p> <table border="0"> <tr> <td>こ…こども総務課 (260-5608)</td> <td>ほ…ほいく課 (260-5607)</td> </tr> <tr> <td>す…すくすく子育て課 (260-5609)</td> <td>青…こども・青少年課 (260-5224)</td> </tr> <tr> <td>健…健康づくり推進課 (260-5662)</td> <td>相…青少年相談室 (260-5036)</td> </tr> </table>		こ…こども総務課 (260-5608)	ほ…ほいく課 (260-5607)	す…すくすく子育て課 (260-5609)	青…こども・青少年課 (260-5224)	健…健康づくり推進課 (260-5662)	相…青少年相談室 (260-5036)
こ…こども総務課 (260-5608)	ほ…ほいく課 (260-5607)						
す…すくすく子育て課 (260-5609)	青…こども・青少年課 (260-5224)						
健…健康づくり推進課 (260-5662)	相…青少年相談室 (260-5036)						

やまと市民討議会
- 人口減少を食い止めるアイデア編 -

報告書

(平成28年度 第1回)

平成29年1月

発行 大和市 政策部 総合政策課
〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間 1-1-1
電話 046-260-5304

